Panasonic

パナソニックコンピューター

AL-N0

取扱説明書

Let's NOTE mini

（Windows 95用）



保証書別添付

■この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

■保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、
販売店からお受け取りください。

このたびは、パナソニックコンピューター AL-N0 シリーズ をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
本書は、本機の基本的な取り扱いについて説明しています。
お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存し、必要に応じてご利用ください。

この製品にインストールされているソフトウェアについては、「ソフトウェア使用許諾書」の内容を承諾していただくことがご使用の条件になっております。

この装置は、第二種情報装置(住宅地域又はその隣接した地域において使用されるべき情報装置)で住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)基準に適合しております。
しかし、本装置をラジオ、テレビジョン受信機に近接してご使用になると、受信障害の原因となることがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

・本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。なお、充電されたバッテリーパックを装着して使用される場合、瞬時電圧低下に対して支障なくお使いいただけます。(詳しくは、本文をご覧ください。)
・漏洩電流について、この装置は、社団法人　日本電子工業振興協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

・Microsoft とそのロゴ、MS、MS-DOS、Windows は、米国マイクロソフト社の登録商標です。
・Am5x86 は、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。
・その他の社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

もくじ

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や障害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

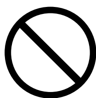
 **危険**	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 **警告**	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 **注意**	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

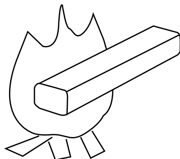
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

 **危険**　バッテリーパックに関する注意

■火中に投入したり加熱したりしない

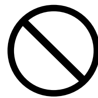


禁止

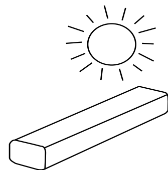


発熱・発火・破裂の原因になります。

■火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・使用・放置をしない



禁止

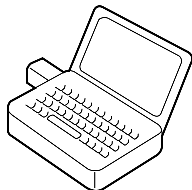


発熱・発火・破裂の原因になります。

⚠危険 バッテリーパックに関する注意

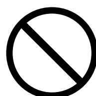
■指定された方法で充電する

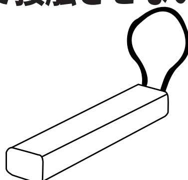




取扱説明書に記載された方法で充電しないと、発熱・発火・破裂の原因になります。

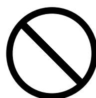
■プラス（＋）とマイナス（－）を金属などで接触させない

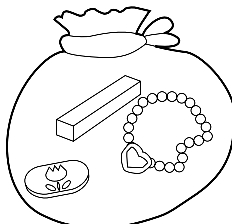




発熱・発火・破裂の原因になります。

■ネックレス、ヘアピンなどといっしょに持ち運んだり保管したりしない

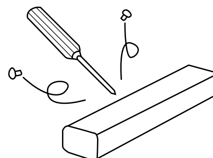




発熱・発火・破裂の原因になります。

■クギで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしない

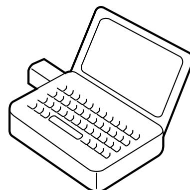




発熱・発火・破裂の原因になります。

■付属の充電式電池は必ず本機で使用する

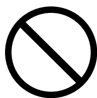


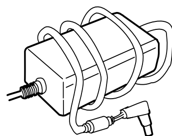


本機専用の充電式電池です。
本機以外に使用すると、発熱・発火・破裂の原因になります。

⚠警告

■電源コード、ＡＣ アダプターを破損するようなことはしない
傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、重い物を載せたり、束ねたりしない


禁止

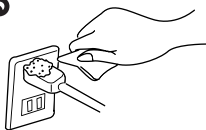


傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

●コードやアダプターの修理は販売店にご相談ください。

■電源プラグのほこり等は定期的にとる

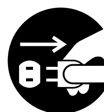


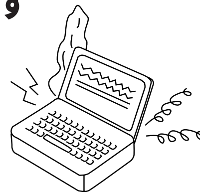


プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き乾いた布でふいてください。

●長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

■異常が起きたらすぐにＡＣアダプターとバッテリーパックをはずす


電源プラグを抜く



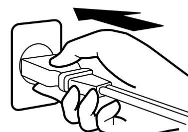
・本体が破損した
・煙が出ている
・異臭がする
・発熱している

などの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

●異常が起きたら、すぐに電源スイッチを切って AC アダプターとバッテリーパックをはずし、販売店にご相談ください。

■ACアダプターのプラグは根元まで確実に差し込む





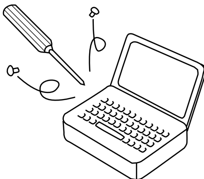
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災原因になります。

●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

⚠警告

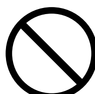
■本機を分解したり、改造したりしない


分解禁止



内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。また分解・改造は、火災の原因になります。

■本機の上に水などの入った容器や金属物を置かない

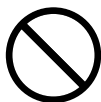

禁止

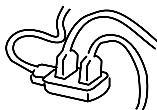


水などがこぼれたり、クリップ、コインなどの異物が中に入ったりすると、火災・感電の原因になります。

●内部に異物が入った場合は、すぐに電源スイッチを切ってACアダプターとバッテリーパックをはずし、販売店にご相談ください。

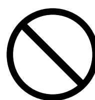
■コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

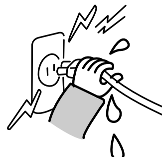

禁止



タコ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

■ぬれた手でACアダプターのプラグを抜き差しはしない

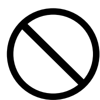

禁止



感電の原因になります。

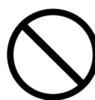
⚠注意

■ヘッドホン使用時に音量を上げすぎない


禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

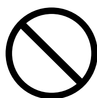
■炎天下の車中に長時間放置しない


禁止

高温により、キャビネット等が過熱・変形・溶解する原因になることがあります。

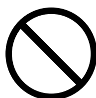
⚠注意

■本機の上に重いものを置かない



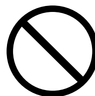
バランスが崩れて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

■不安定な場所に置かない



バランスが崩れて倒れたり、落下したりして、けがの原因になります。

■湿気やほこりの多い場所に置かない



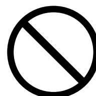
火災・感電の原因になることがあります。

■１時間ごとに１０～１５分間の休憩をとる



長時間続けて使用すると、目や手などの健康に影響を及ぼすことがあります。

■ACアダプターを接続したまま移動しない



コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

●コードが傷ついた場合は、すぐにACアダプターをはずして販売店にご相談ください。

■必ず指定のACアダプターを使用する



指定以外のACアダプターを使用すると、発煙の原因になることがあります。

■ACアダプターはプラグ部分を持って抜く



コードを引っぱるとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

保管・使用場所に関するお願い

- 直射日光の当たる場所や、極端に高温または低温の場所に置かない。
- テレビ、ラジオ、無線機のそばで使用しない。
- 衝撃、振動のある場所で使用しない。
- 強い磁界を発生する装置の近くで使用しない。

持ち運ぶときのお願い

- 電源を切って（POWERインジケーターが消灯していることを確認して）から運ぶ。
- 紙などをはさんだまま運ばない。
- ディスプレイを開けたまま運ばない。ディスプレイを直接持って運ばない。
- 落とさない。
- 机のカドなど固いものにぶつけない。

ソフトウェア使用許諾書

第１条　権利

お客様は、本ソフトウェア（コンピューター本体に内蔵のハードディスク、付属のフロッピーディスク、マニュアルなどに記録または記載された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできますが、著作権がお客様に移転するものではありません。

第２条　第三者の使用

お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびそのコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

第３条　コピーの制限

本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）の目的のためだけに限定されます。

第４条　使用コンピューター

本ソフトウェアは、コンピューター１台に対しての使用とし、複数台のコンピューターで使用することはできません。

第５条　解析、変更および改造

本ソフトウェアの解析、変更または改造を行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、何らかの欠陥が生じたとしても、弊社では一切の保証をいたしません。また解析、変更または改造の結果、万一お客様に損害が生じたとしても弊社および販売店等は責任を負いません。

第６条　アフターサービス

お客様が使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせください。お問い合わせの本ソフトウェアの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。

第７条　免責

本ソフトウェアに関する弊社の責任は、上記第６条のみとさせていただきます。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、弊社および販売店等はその責任を負いません。また、この製品に付属されている「保証書」はコンピューター本体（ハードウェア）の保証に限定したものです。

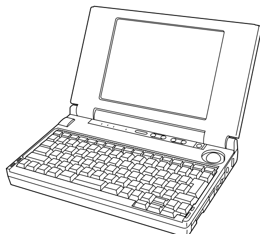
第８条　その他

上記第６条のアフターサービスには、付属の「ソフトウェアサポートカード」が必要です。本ソフトウェアのバックアップと併せて大切に保管してください。

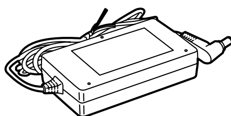
梱包物の確認

下記のものがすべてそろっているか確かめてください。
万一、足りない場合、または購入したものと異なる場合は、お買い上げになった販売店にお確かめください。

本体

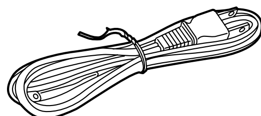


AC アダプター

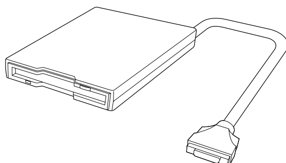


品番：AL-AA170

AC コード

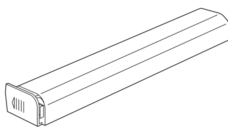


外付け
フロッピーディスクドライブ



品番：AL-NFFE000J
オプション品番：AL-NFFE010J

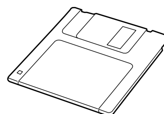
バッテリーパック



品番：AL-NFBL010J

フロッピーディスク

保存ディスク

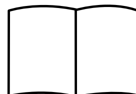


その他の印刷物

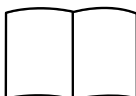
- ●保証書
- ●ご相談窓口のご案内
- ●ご愛用者登録カード / ソフトウェアサポートカード
- ● Windows95 セットアップディスクラベル
- ●マイクロソフト社のユーザー登録カード

取扱説明書

（本書）



Microsoft Windows95
ファーストステップガイド



各部の名称と働き

前面／側面

内蔵スピーカー

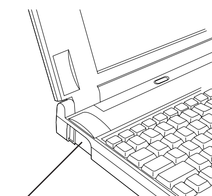
ディスプレイ

パネルスイッチ

ディスプレイを閉じると、このボタンが押されて、自動的に画面が消えます。ディスプレイを開けると、再び画面が表示されます。（このボタンを手で押しても画面が消えます。ご注意ください。）

バッテリーパック挿入口

ここから、バッテリーパックを装着します。バッテリーパックは、ACアダプターを接続しない場合に本体の電源となります。



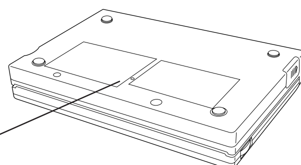
バッテリーパック挿入口

キーボード

コンピューターに指示を与える装置です。

リセットスイッチ

コンピューターが動かなくなって操作できなくなったときに、先の細いもので押すと再起動します。



リセットスイッチ

LED インジケーター

CapsLK/NumLK/ScrLK インジケーター
機能時：緑色
[Fn] キーを押しながら、[F9] キーを押した場合に、バッテリーの残量表示を行います。(P.48)

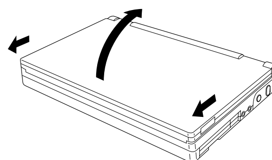
POWER インジケーター
電源 ON 時：緑色

BATT（Battery）インジケーター
バッテリーパックの充電状態を表示します。(P.47)

HDD インジケーター
HDD 動作中：緑色

◆ディスプレイを開ける

ディスプレイの両サイドにあるオープンラッチを手前にスライドさせ、ディスプレイを上にあげます。



オープンラッチ

ここをスライドさせてディスプレイを開けます。

音量調節スイッチ

内蔵スピーカーの音量を、無音、小音、大音の３段階で調節します。

輝度調節ボタン

ディスプレイの明るさを調節します。

コントラスト調節ボタン

ディスプレイの表示の濃さを調節します。

電源スイッチ（POWER)

本体の電源の ON/OFF を切り替えます。

クリックボタン

トラックボールを使って操作するとき､ここを押すとメニューの選択などができます。

トラックボール

指で、前後左右に回転させると、カーソルがその方向に動きます。

ヘッドホン端子 (PHONES)

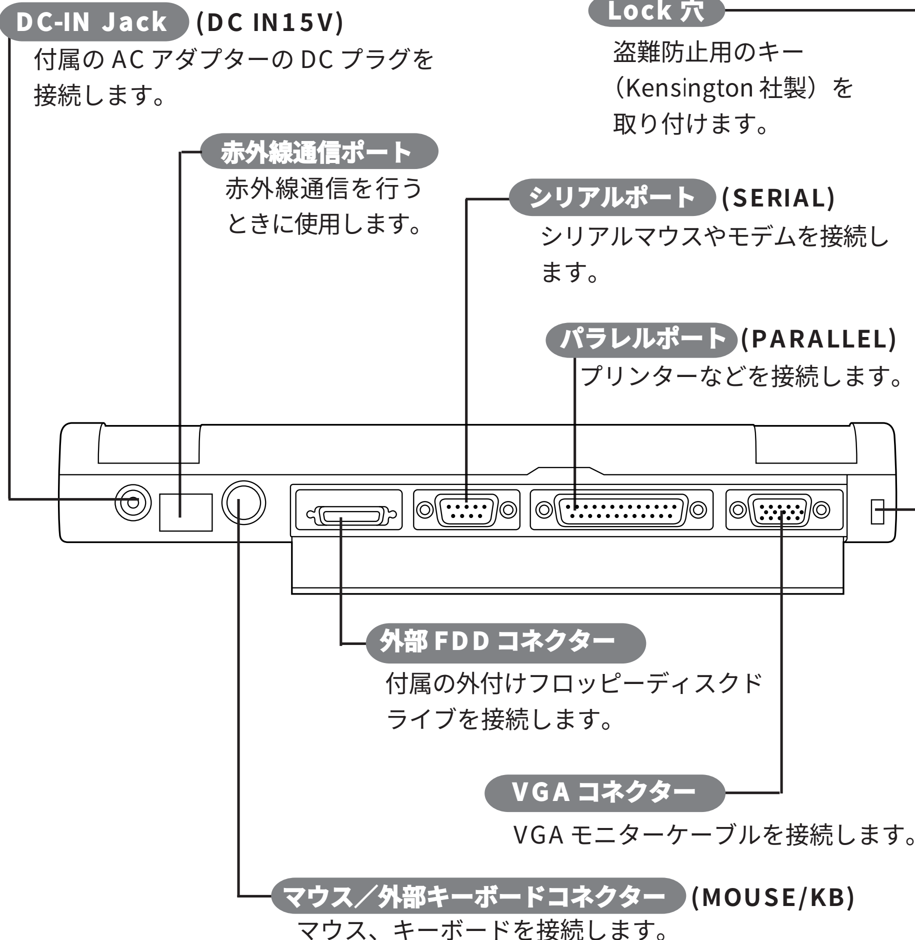
市販のオーディオ用モノラルヘッドホン、スピーカーなどを接続します。

マイクロホン端子 (MIC)　市販のマイクロホンを接続します。

PC カードスロット

JEIDA 規格に準拠したカード（PCMCIA）をセットします。

後面



◆お手入れのしかた

- **ディスプレイ部分**
  ガーゼなどの柔らかい布にイソプロピルアルコールやエチルアルコールを十分に浸み込ませて、軽くふきとります。アセトンなどのケトン類やキシレン、トルエンなどの芳香族類の溶剤は使用しないでください。
- **ディスプレイ以外の部分**
  柔らかい布に水または台所用洗剤を含ませて固くしぼってから、やさしくふきとります。ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用するのは避けてください。また、化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- ほこりは、掃除機で吸い取るなどして取り除いてください。

キーボード

本機のキーボード配列は、JISに準拠しています。文字入力キー以外にいろいろな機能をもつキーがあります。

テンキー

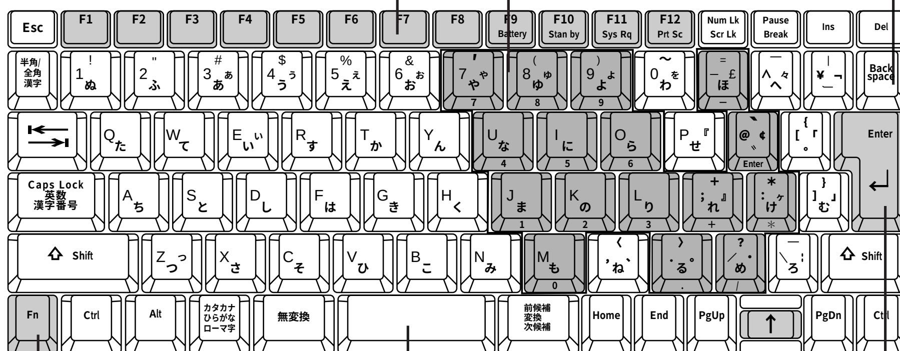
外部キーボードやテンキーパッドが接続されていないときに、[Shift] キーを押しながら [NumLK] キーを押してテンキーを有効にすると、数字が入力できるようになります。

ファンクションキー

使用するソフトウェアによっていろいろな役割を持たせています。

Backspace キー

文字入力のときに使用します。カーソルの左側の文字を消します。



空白（スペース）キー

文字と文字の間に空白（スペース）を入れるときに使用します。

カーソル移動キー

カーソルを動かすときに使用します。

Fn キー

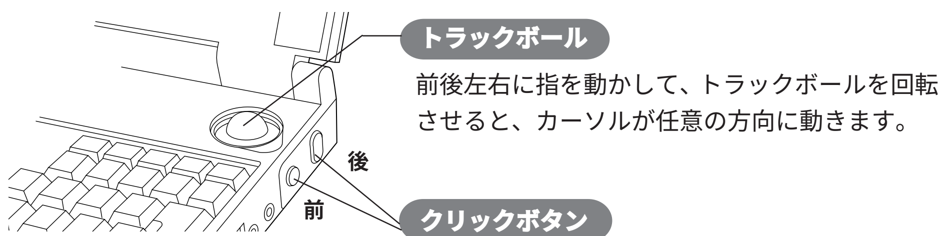
他のキーと組み合わせて押すことによって、特殊な機能を有効にします。(P.49)

Enter（リターン）キー

命令やデータの区切りに押し、入力した情報をコンピューターに伝えます。

トラックボールとクリックボタン

画面の位置を指定して、コンピューターに命令を与える装置のひとつです。トラックボールとクリックボタンを組み合わせて使うと、別売りのマウスと同じ働きをさせることができます。Windows やマウス対応のアプリケーションソフト上で、画面上のメニューを選んだり、図形を描いたりすることができます。



◆基本的な操作

クリック　：後または前ボタンを押して離す。
ダブルクリック：後または前ボタンを続けて2回すばやく押して離す。
ドラッグ　：後または前ボタンを押したまま、トラックボールを回転する。

参考

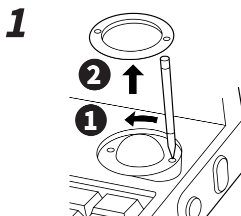
- ●2つのボタンの働きは、使用するアプリケーションソフトによって異なります。通常は後ボタンで動作します。
- ●前ボタンはマウスの右ボタンと同じ働きをします。後ボタンはマウスの左ボタンと同じ働きをします。
- ●操作方法の詳細は、『ファーストステップガイド』を参照してください。

◆清掃のしかた

トラックボールの動きが悪くなった場合は、中にゴミやほこりがたまっていることがあります。このようなときは以下の手順に従って汚れをふきとってください。

1. カバーを取り外す。

❶ ボールペンなど、先のとがったものをカバーの穴に差し込み、左方向に回します。
❷ 少し浮き上がりますので、そのまままっすぐに持ち上げます。

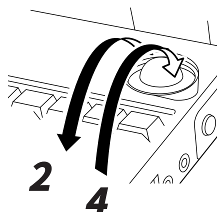


お願い

内部には絶対に触れないでください。また、異物を入れないように注意してください。故障の原因になります。

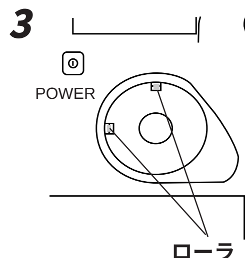
2. ボールを取り出し水洗いする。

手を添えて、本体を少し傾けてボールを取り外します。水洗いした後、布で水気をふきとります。
シンナーやベンジンなどの溶剤は使用しないでください。



3. ローラ部分は歯ブラシ等で拭く。

歯ブラシ等のブラシを用いて、ローラ部分を傷つけないように汚れを取ってください。
汚れがひどい場合には、イソプロピルアルコールやエチルアルコールをブラシに染み込ませて用いてください。
これら以外の溶剤は、本体を変形または変質させる可能性がありますので、使用しないでください。



4. ボールを戻す。

ボールにゴミやホコリが付いていないか確認してから、ボールをもとの位置に戻します。

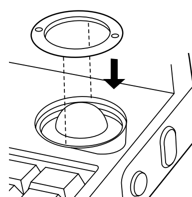
5. カバーを戻す。

❶ カバーの突起部分をミゾに合わせてしっかりとはめ込みます。

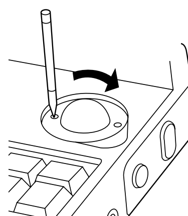
❷ ボールペンなど先のとがったものをカバーの穴に差し込み､右方向にカチッと音がするまで 回します。

5

❶



❷



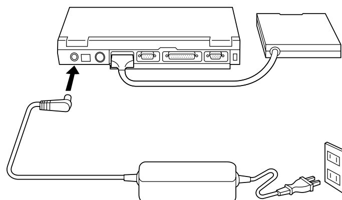
はじめかた・終わりかた

本機には、Microsoft® Windows® 95（以降Windows）があらかじめインストールされています。ここでは、電源を入れてWindowsの操作に入るまでの手順を説明します。

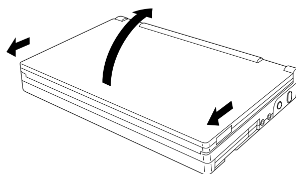
はじめかた

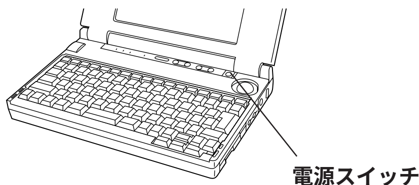
1. AC アダプターを接続する。

付属の専用ACアダプター (品番：AL-AA170) を使用してください。それ以外のACアダプターや市販のカーアダプターなどは絶対に使用しないでください。
コンピューター本体にACアダプターを接続しないときは、コンセント側も抜いておいてください。



2. ディスプレイを開けて、電源を入れる（電源スイッチを押す）。





参考

トラックボールおよびマウスの基本的な操作は以下の通りです。
クリック：　後（左）または前（右）ボタンを押して離す。
ダブルクリック：　後（左）または前（右）ボタンを続けて2回すばやく押して離す。
ドラッグ：　後（左）または前（右）ボタンを押したまま、トラックボールを　回転するかマウスを移動する。
２つのボタンの働きは、使用するアプリケーションソフトによって異なります。
通常は後（左）ボタンで操作します。前（右）ボタンを押すとショートカットメニューが表示されます。

3. Windows95 のセットアップを行う。

（初めて起動したときのみ）
以下の手順に従って操作してください

1. ［次へ］をクリックする。
2. 名前と会社名を入力し、［次へ］をクリックする。
3. ［次へ］をクリックする。
4. Windows95のライセンスアグリーメント画面が表示されるので、「同意する」の左横の○をクリックし、さらに［次へ］をクリックする。
5. 付属の『ファーストステップガイド』の表紙の「Certificate of Authenticity」に記入されている番号を入力し、［次へ］をクリックする。
6. ［次へ］をクリックする。
   環境の設定が行われ、完了すると「コピー完了」のメッセージが画面に表示されます。
7. ［完了］をクリックする。
8. コンピューターの再起動の確認画面が表示されるので、［OK］をクリックする。
9. 再起動後、プリンターの設定画面が表示されるので、接続している場合は［次へ］をクリックし、画面の表示に従ってプリンタを設定する。接続していない場合は［キャンセル］をクリックする。
10. 日付と時刻を設定する画面が表示されるので、日付と時刻を設定して［閉じる］をクリックする。

4. Windows95 のシステムディスクの作成を促す画面が表示されるので、システムディスクを作成する場合は［次へ］をクリックし、画面の指示に従ってシステムディスクを作成する。

（2HD のフロッピーディスクが 47 枚必要です。）

システムディスクを作成しない場合は、［キャンセル］をクリックする。

◆システムディスクについて

ハードディスクの内容が消えてしまったときなど、再インストールを行う必要が起こったときのために、必ず、システムディスクを作成しておいてください。(作成方法については、21ページを参照してください。)
Windows95 のシステムディスクの作成には、フロッピーディスク (2HD) 42 枚が必要です。
また、Nifty マネージャー等の各種ユーティリティプログラムをバックアップするためにはフロッピーディスク（2HD）5 枚が必要です。

（インストールディスクを作成していないときのみ）

システムディスクの作成を終了、またはキャンセルすると、下のような Windows の画面が表示されます。



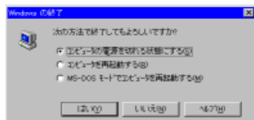
終わりかた

1. スタートボタンをクリックし、［Windows の終了］をクリックする。

MS-DOS モードに入っている場合には、まず、「EXIT」と入力して MS-DOS モードを抜けてからスタートボタンをクリックしてください。

2. ［はい］をクリックする。

しばらくすると自動的に電源が切れます。



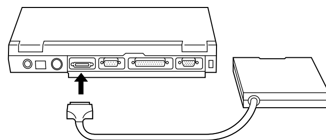
お願い

●電源を切った後、再度電源を入れる場合は、5 秒以上の間隔をあけてください。

システムディスクの作成のしかた

まず、フロッピーディスク（2HD）を 47 枚、準備してください。

1. 外付けフロッピーディスクドライブを取り付ける。（P.23 ）



2. ディスプレイを開けて、電源を入れる。

Windows の画面が表示されます 。

3. 「Create System Disks」の画面が表示される。

システムディスクを作成していない場合は、Windows を起動すると、指定された起動回数ごとに（標準は５回に１回）「Create System Disks」の画面が表示されます。

Windows95 の初期画面から「Create System Disks」を表示させるには、スタートボタンをクリックし、［プログラム］→［アクセサリ］→［システムツール］の順にポインタを置き、［Create System Disks］クリックします 。



参考

●システムディスクの作成は１回のみ可能です。

4. 『次へ』をクリックして、画面の指示に従いながら Windows95 のシステムディスクを作成する。

Windows のシステムディスクの作成には 42 枚のディスクを用意してください。

お願い

あらかじめ、付属の Windows95 用のラベルをフロッピーディスクに貼っておいてください。

5. Windows95 のシステムディスクの作成が終了したら、MS-DOS モードでコンピューターを再起動する。

その他のユーティリティーのインストール用ディスクを作成します。5枚のディスクを用意してください。

6. MS-DOS プロンプト（C：\WINDOWS＞）に続けて、以下のように入力する。

CD　\MKD　[Enter]
MKDISK　[Enter]

7. 以降、メッセージに従って操作する。

8. インストール用ディスクの作成が完了したら、以下のように入力して Windows の画面に戻る。

EXIT　[Enter]

お願い

画面に表示されるフロッピーディスクの名称（ユーティリティディスクなど）を、ラベルに書いてフロッピーディスクに貼っておいてください。

フロッピーディスクの使い方

フロッピーディスクを使用するときは、付属の外付けフロッピーディスクドライブ (品番：AL-NFFE000J) を取り付けてください。ここでは、外付けフロッピーディスクドライブの取り付け方と取り外し方について説明します。また、フロッピーディスクの取り扱い方についても説明します。

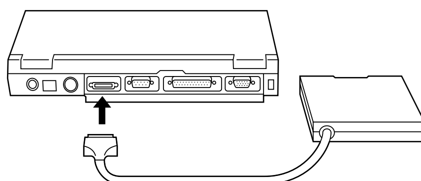
外付けフロッピーディスクドライブの取り付け方

1. 本体の電源を切る。

❶ 動作中のアプリケーションを終了します。
❷ ［スタート］ボタンをクリックし、［Windowsの終了］をクリックしてシステムを終了します。電源が切れるのを確認して、AC アダプターを取り外します。

2. 外付けフロッピーディスクドライブを接続する。

本体背面の FDD コネクターに外付けフロッピーディスクドライブのコネクターを接続します。
コネクターの向きに注意して、接続してください。



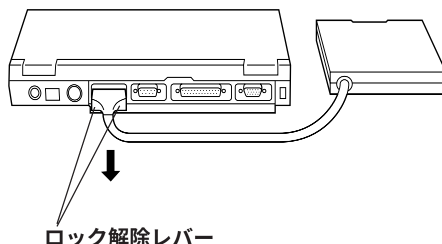
外付けフロッピーディスクドライブの取り外し方

1. 本体の電源を切る。

❶ 動作中のアプリケーションを終了します。
❷ スタートボタンをクリックし、［Windows の終了］をクリックしてシステムを終了します。電源が切れるのを確認して、AC アダプターを取り外します。

2. 外付けフロッピーディスクドライブを取り外す。

ロック解除レバーを押しながら、フロッピーディスクドライブのコネクターを引き抜きます。

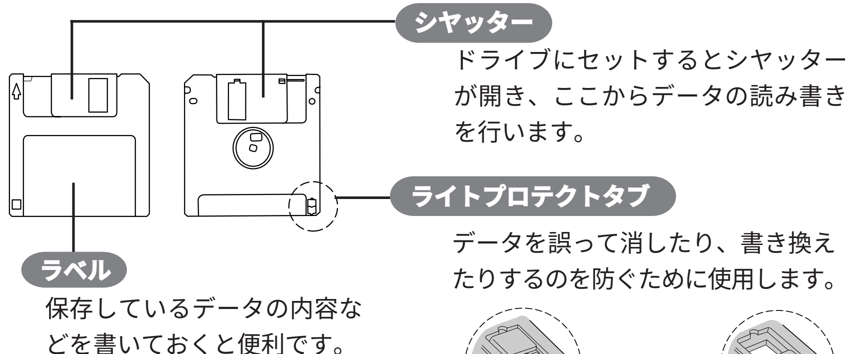


お願い

フロッピーディスクドライブを持ち運ぶときや保管しておくときには、必ず、中のフロッピーディスクは取り出してください。(P.25)

フロッピーディスクの取り扱い方

◆各部の名称と働き



シヤッター

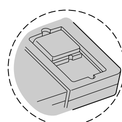
ドライブにセットするとシヤッターが開き、ここからデータの読み書きを行います。

ライトプロテクトタブ

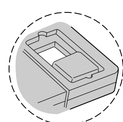
データを誤って消したり、書き換えたりするのを防ぐために使用します。

ラベル

保存しているデータの内容などを書いておくと便利です。



書き込み可能な状態

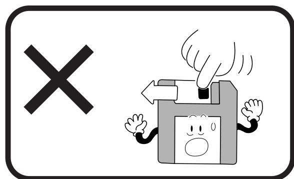


書き込み禁止の状態

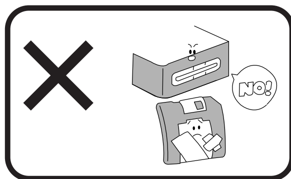
◆取り扱い上のお願い

下記のような取り扱いをすると、記録したデータが壊れたり、フロッピーディスクが取り出せなくなることがあります。

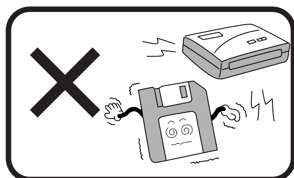
こんなことはしないでください



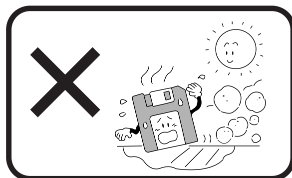
シャッターを手で開ける。



ラベルを重ねてはる。



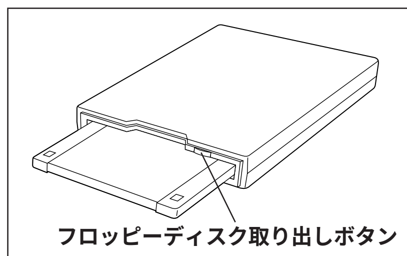
磁気ネックレスやヘッドホンステレオなど、磁気を帯びたものを近づける。



高温・低温になりやすいところ、湿気やほこりの多いところに保管する。

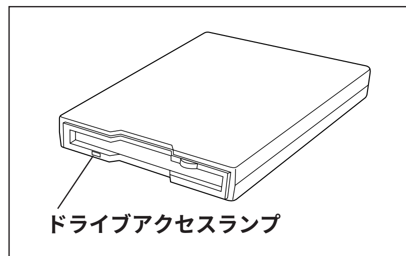
◆フロッピーディスクのセット／取り出し

セットする



フロッピーディスク取り出しボタンが飛び出すまで、確実に挿入します。

取り出す



ドライブアクセスランプが点灯していないことを確認した後、フロッピーディスク取り出しボタンを押して取り出します。

お願い

ドライブアクセスランプの点灯中はフロッピーディスクを取り出さないでください。フロッピーディスク内のデータが壊れるおそれがあります。

参考

●「読み出し」・「書き込み」とは

フロッピーディスクのデータを本体のメモリー上に送ることを「読み出し」、メモリー上のデータをフロッピーディスクに送り、記録することを「書き込み」といいます。

●フォーマット

新しいディスクは、磁気的に区画整理する必要があります。この作業を「フォーマット」（初期化）といいます。フォーマットは［マイコンピュータ］でフォーマットしたいディスクをクリックし、「ファイル」メニューから［フォーマット］を選んでください。

●使用できるフロッピーディスクの種類と記憶容量

フロッピーディスクには「2HD」と「2DD」の２種類があります。それぞれの記憶容量は次のとおりです。

2HD ──1.44M バイト／ 1.2M バイト＊
2DD ── 720K バイト

●バックアップ

ハードディスクに蓄えられたデータは、操作の誤りなどで壊されることがあります。そのような場合に備えて、データのバックアップ（ファイルの複製）をしておいてください。バックアップは、Windows上では、システムツールのバックアップやエクスプローラー等を使って行います。

バッテリーパックの使い方

AC アダプターを接続しない場合、本体の電源になるのがバッテリーパックです。室外で、または、持ち運んで使用するときに便利です。お買い上げ時には、バッテリーパックは装着されていません。以下の手順に従って取り付けてください。
また、長期間本体を使わない場合は、バッテリーパックを取り外しておくことをお勧めします。

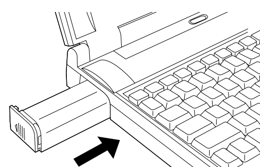
お願い

サスペンド中にAC アダプターとバッテリーパックの両方ともを抜くと、データが失われますのでご注意ください。(P.62)

取り付け方

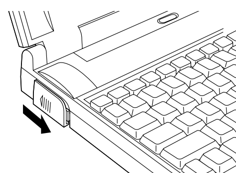
1. バッテリーパックを挿入する。

向きに注意しながら、本体左側の挿入口からゆっくりと挿入します。



2. バッテリーパックのフタを矢印の方向にスライドさせ、ロックする。

挿入口の奥にはバネがついていますので、バッテリーパックを奥へ少し押すようにしながら、ロックしてください。



お願い

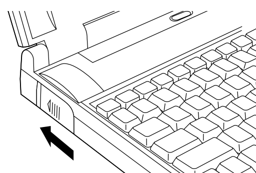
力任せに押し込まないでください。また、本体を縦にした状態で、挿入しないでください。

取り外し方

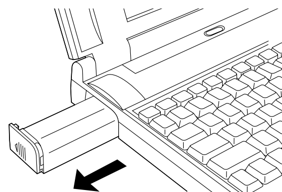
1. 本体の電源を切る。

2. バッテリーパックのフタを矢印の方向にスライドさせ、ロックを外す。

バッテリーパックが少し飛び出します。



3. バッテリーパックを引き出す。

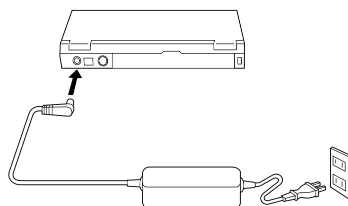


充電のしかた

付属のバッテリーパックは、お買い上げ時には充電されていません。はじめて使用するときは、必ず充電してください。
充電は、コンピューター本体にバッテリーパックを取り付けた状態で行います。

1. AC アダプターを接続する。

充電が始まります。充電中は、BATT インジケーターがオレンジ色に点灯します。

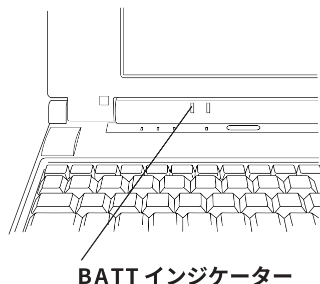


2. 充電状態を確認する。

充電が済むと、BATT インジケーターが緑色に点灯します。(P.47)

◆**充電時間**（使用条件により異なります。）

電源が入っているとき	約 8 時間
電源が切れているとき	約 2 時間



参考

電源が切れている状態でも、約 30 mW の電力を消費します。従って、バッテリーパックを満充電にしていても約１０日間で放電してしまいます。再度、充電してからお使いください。

バッテリーの消耗

バッテリーが消耗すると、BATT インジケーターが赤く点灯し、しばらくするとピーピーと音が鳴ります。その場合は、すぐに AC アダプターを接続してください。
すぐに AC アダプターを接続できないときは、動作中のプログラムを終了させて電源を切ってください。その後、AC アダプターを接続して、充電してからお使いください。

Windows の基本操作

Windows95 は Windows 3.1 の後継の OS として数多くの優れた特長を持っています。Windows 3.1に比べてより使いやすく設計され、画面デザインもより洗練されたものに変わっています。ここでは、デスクトップでの基本的な操作、ファイル名やフォルダー名のつけかたの規則、よく使うソフトのメニューへの登録のしかたと削除のしかた、文字入力のしかたについて説明します。

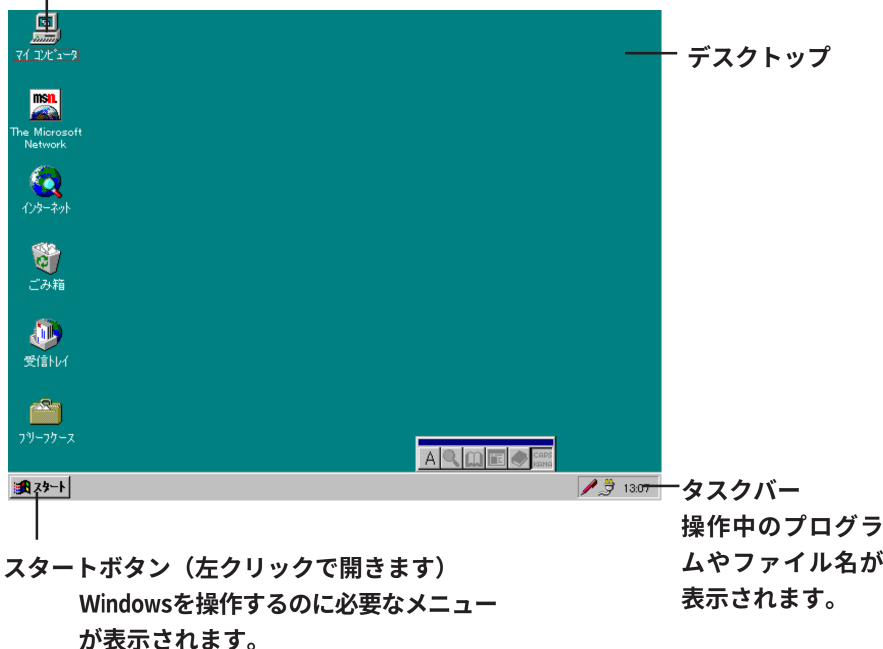
Windowsの操作方法についての詳細は、別冊の『ファースト　ステップ　ガイド』を参照してください。

ウインドウの画面

◆起動する

電源を入れると自動的にWindowsが起動し次のような画面が表示されます。

マイコンピュータ（ダブルクリックで開きます）
自分のコンピューターやファイルを管理するとき開きます。



◆［スタート］メニュー

［スタート］ボタンを押すと、［スタート］メニューが表示されます。このメニューには、Windowsを操作するにあたって、必要な項目がすべてメニューから選べるようになっています。項目を選ぶには、選択する項目にカーソルをポイントしクリックします。



◆ウインドウの操作

［スタート］メニューからプログラムやファイルを選ぶとウインドウが開きます。
ウインドウの各パートをマウスカーソルで操作することでウインドウの操作ができます。
※（★）はマウス左ボタンのクリック操作を表します。

ウインドウを最小化（★）

ウインドウを最大化（★）

ウインドウを閉じる（★）

コントロールメニューボタン

移動（ドラッグ）

1行上スクロール（★）

スクロール（ドラッグ）

1画面スクロール（★）

1行下スクロール（★）

ウインドウのサイズ変更（ドラッグ）

ファイル名のつけかたの規則

<table>
<tr><td>ファイル名で使用できる文字</td><td>漢字、かな、カナ、英数字等の文字</td></tr>
<tr><td>ファイル名の長さ</td><td>１バイト英数字で２５５文字まで</td></tr>
<tr><td>パスの長さ</td><td>１バイト英数字で２６０文字まで</td></tr>
<tr><td>使用してよい特殊記号</td><td>＄％’－＠｀！（）＾＃＆空白＋．，；＝ []</td></tr>
<tr><td>使用できない特殊記号</td><td>\/：*｜<>？”~</td></tr>
<tr><td>Windows 3.1やMS-DOSで使う
ファイル名で使用できない記号</td><td>＋．，；＝ []</td></tr>
</table>

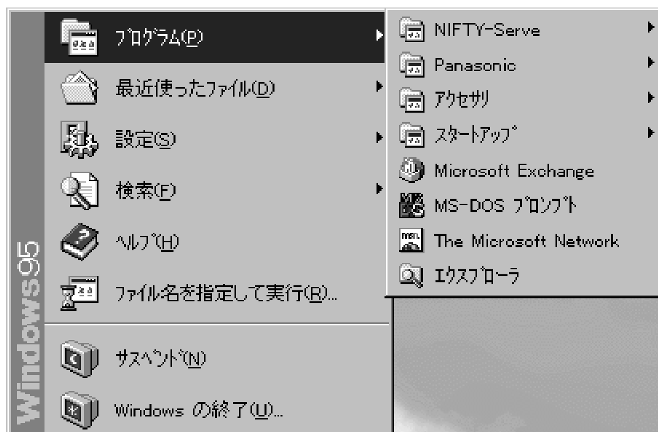
長いファイル名はWindows 3.1やMS-DOSで使うアプリケーションのために自動的に短いファイル名に省略して表示されます。通常は、先頭の８文字に省略して表示されますが、類似するファイルとの重複を避けるために一部変更される場合があります。

スタートメニューに登録する／削除する

アプリケーションソフトやフォルダー、ファイル等を［スタート］メニューに登録したり、必要のなくなったものは削除したりできます。

◆スタートメニューに登録する

1. ［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム（P）］にポインタを置く。



2. **［エクスプローラ］をクリックする。**

エクスプローラーが開きます。エクスプローラーはファイル、ドライブ、ネットワーク接続の表示や管理のためのツールです。



3. **マウスの右ボタンでエクスプローラにある項目を［スタート］ボタンにドラッグし、マウスのボタンを離す。**

◆スタートメニューから項目を削除する

1. **［スタート］ボタンをクリックし、［設定（S)］にポインタを置く。**

2. **［タスクバー（T)］をクリックする。**

タスクバーのプロパティーが開きます。このダイアログボックスでタスクバーや［スタート］ボタンの表示内容等を設定します。

3. [スタート] メニューの設定をクリックする。

このダイアログボックスで［スタート］メニューに項目の追加と削除ができます。



4. [削除] ボタンを押して、削除する項目を削除する。

[削除] ボタンを押すと、メニューに登録されている項目の一覧が表示されます。削除する項目をその中から選んで削除してください。

文字入力のしかた

Windows 上で日本語を入力する場合には、次のような手順で行なってください。

日本語を入力できる状態にする。---------------- 日本語入力モード
↓
キーボードから日本語の読みを入力する。----- 読みの入力
↓
入力した文字を変換する --------------------------- 漢字変換
↓
変換した文字を確定する --------------------------- 文字の確定

◆日本語入力モードで文字を入力するには

1. 日本語入力モードにする。

タスクバーの(日本語入力インジケータ) をダブルクリックします（または、[Alt] ＋ [半角／全角] を押す)。日本語が入力できる状態になります。
日本語入力モードを解除するには再度タスクバーの （日本語入力インジケータ）をダブルクリックしてください（または、[Alt] ＋ [半角／全角] を再度押す)。

2. キーボードから日本語の読みを入力する。

ローマ字入力で入力する場合 （キーボードの入力モード* が英数入力）

MS-IME95を起動した直後はローマ字で入力できるようになっています。

入力例

（入力するキー） （画面表示）

M も A ち T か U な S と I に T か A ち → まつした

かなで入力する場合 （キーボードの入力モード* がかな入力）

[Alt] キーを押しながら [カタカナ／ひらがな] キーを押すとかなで入力できます。

入力例

（入力するキー） （画面表示）

J ま Z っ D し Q た → まつした

3. 入力した文字を変換する。

入力モードが「全角ひらがな」の状態で読みを入力し、[変換] を押します。
入力した読みが漢字まじりの文に変換されます。反転表示されている部分は、右の表に示すキーを押すことによってさらに別の変換ができます。

キー	機能
変換	漢字に変換
F6	ひらがなに変換
F7	カタカナに変換
F8	半角に変換
F9	全角英数に変換
Enter	文字を確定

4. 文字を確定する。

変換された文字は、[Enter] キーを押すと確定されます。連文節変換のときは、続けて次の文節を入力すると、それまでの文字入力が確定します。

◆日本語入力の表示画面の見方と操作方法

MS-IME95には機能や働きを表示したり設定できる日本語入力インジケータとツールバーとキーボードガイドがあります。

●日本語入力インジケータ

日本語入力インジケータは日本語が入力できるかどうかを表示します。

日本語入力モードがOFFになっています。(アルファベットと数字等が入力できます。)

日本語を入力できます。

●ツールバー

ツールバーは入力や変換などの日本語モードを表示したり、単語を登録したりするのに便利です。



※ツールバーを表示するには

タスクバーの日本語入力インジケータをクリックして、［ツールバーの表示］をクリックします。

ツールバーを表示しないようにするには、再度日本語入力インジケータの［ツールバーの表示］をクリックします。

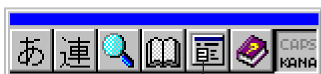
●キーボードガイド

NS-IME95の場合特殊な機能をファンクションキーに割り当てています。キーボードガイドはこれらの機能を表示します。



※キーボードガイドを表示するには

ツールバーのMS-IME95のプロパティーを設定するボタンを押します。



MS-IME95のプロパティーを設定するボタン

タイアログボックスの表示の設定の中で「キーボードガイドを表示」にチェックマークを入れます。

お願い

●表記方法が上記の例にあてはまらない場合があります。



MS IME95 が起動していない場合："￣"は"˜"と表示されます。
MS IME95 が起動している場合　："￣"は"￣"と表示されます。



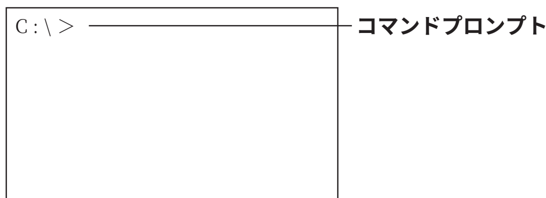
"＼"は"￥"と表示されます。

●以下のキーはキー入力では入力できません。コード入力で入力してください。

キートップ	P 『 せ	@ ’ ¢	: ＊ ヶ け	; ＋ 』 れ	＼ ￣ ｜ ろ	＼ ￣ ｜ ろ	ー ＝ £ ほ	^ ￣ 々 へ	¥ ｜ ¬ ＿	0 〜 を わ
文字	"『"	"¢"	"ヶ"	"』"	"＼"	"｜"	"£"	"々"	"¬"	"〜"
シフトJISコード	8177	8191	8396	8178	815F	FA55	8192	8158	81CA	8160

MS-DOS プロンプトでの基本操作

［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］をポイントします。次に、［MS-DOSプロンプト］をクリックします。下図のような MS-DOS プロンプトの画面が表示されます。MS-DOS プロンプトから Windows の画面に戻るにはコマンドプロンプトの後に EXIT とタイプして［Enter］キーを押してください。



MS-DOSプロンプトで何か仕事をするときには、どんな仕事をするのかという指示をコマンド（命令用の文字列）によって与えます。コマンドを実行するためには、コマンドプロンプト（C:\＞）が表示されている状態で、コマンドの文字列をキーボードから入力して［Enter］キーを押します。

参考

●ファイル

ファイルとは関係のある情報の集まりのことです。プログラム、テキスト、データはいずれかのファイルに属します。それぞれのファイルには固有の名前を付けます。必要なデータはそのファイル名で参照します。

●フォルダ

フォルダとはファイルの集まりのことです。フォルダにも固有の名前を付けます。たくさんあるファイルをグループに分けて、個々のフォルダに登録することで管理がしやすくなります。

●ディスク

ファイルはディスク上に保存されます。保存するためには、ディスクに空き領域が必要です。また、十分な空き領域がないと動作しないプログラムもあります。不必要なファイルは削除して、空き領域を確保するようにしてください。

文字入力のしかた

起動したときの状態では、半角の英数字（NumLock有効）と記号だけが入力できます。キーボードから全角文字、ひらがな、カタカナ、かな記号、漢字を入力する場合には [Alt] キーを押しながら [半角／全角] キーを押して、MS-IME95（マイクロソフト日本語入力システム）を起動してください。
再度 [Alt] キーを押しながら [半角／全角] キーを押すと、MS IMEが終了します。

キー表面の文字や記号の表示方法を [A ち] と [{ [「 。] を例にとって簡単に説明します。

MS IMEが起動していないとき

＜キーの左側の文字が入力できる＞

英大文字

Caps Lookが無効のとき：
[Shift] キーを押しながらそのキーを押す

Caps Lookが有効のとき：
そのキーだけを押す

英小文字

Caps Lookが無効のとき：
そのキーだけを押す

Caps Lookが有効のとき：
[Shift] キーを押しながらそのキーを押す

英記号

[Shift] キーを押しながらそのキーを押す

そのキーだけを押す

MS IMEが起動していて入力方式がかな入力のとき

＊かな入力への切り替えは Alt と カタカナ ひらがな ローマ字 を押す。

＜キーの右側の文字が入力できる＞

ひらがな

そのキーだけを押す
（状態表示（画面右下の表示）は「かな」）

カタカナ

そのキーだけを押す
（状態表示（画面右下の表示）は「カナ」）

かな記号

[Shift] キーを押しながら、そのキーを押す

そのキーだけを押す

カードのセット

使用できるカードは、RAM モジュールと PC（PCMCIA）カードの２種類です。それぞれ専用のスロットにセットします。

◆セット／取り出しを行う前に

1. データを保存し、スタートボタンをクリックする。
2. ［Windows の終了］をクリックして、システムを終了する。
3. 電源が切れたことを確認して、AC アダプターを取り外す。
4. (RAM モジュールのセット／取り出しを行うときのみ)
   バッテリーパックを取り外す。 (P.26)

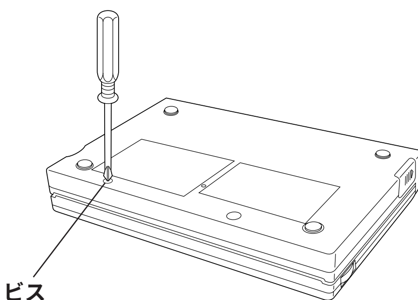
RAM モジュールのセット／取り出し方法

本機には、標準で 16M バイトの RAM モジュールを増設してあります。

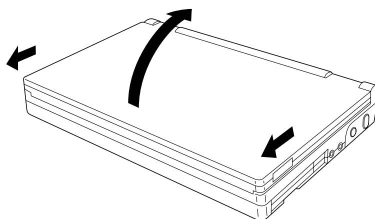
◆セットのしかた／取り出し方

1. 本体裏面のネジを取り外す。

本体を裏返し、プラスドライバーでネジ（１か所）を取り外します。

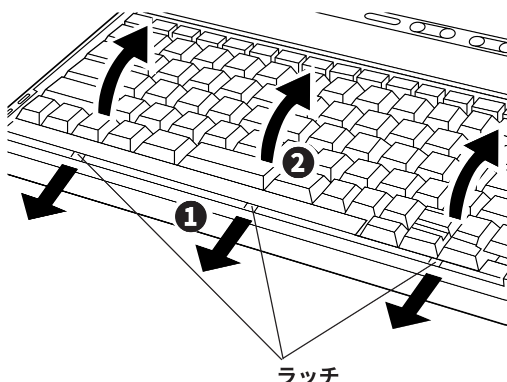


2. ディスプレイを開ける。



3. キーボードパネルを開ける。

❶ラッチが３か所にあります。矢印の方向に押し開いて、ラッチの押さえを外しながら、
❷図のようにキーボードパネルを開けます。



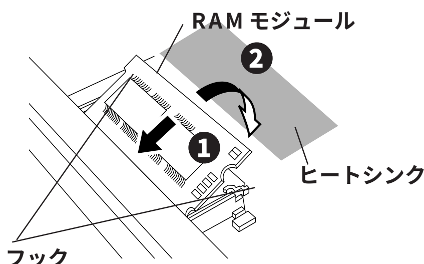
お願い

キーボードパネルを、ディスプレイ側に無理に押し倒さないでください。パネルの支軸が破損するおそれがあります。

4. RAM モジュールをセットする／取り出す。

セットする

❶ ソケットのミゾに合わせて、斜め上方からしっかり差し込みます。
❷ 矢印の方向に軽く押して、はめ込みます。フックがかかり、ロックされていることを確認してください。

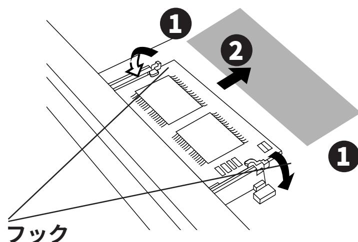


お願い

- 向きと角度に注意して差し込んでください。向きやミゾとの角度を間違うとうまく入りません。
- ヒートシンク（CPUブロックの放熱板）は高温になっています。手を触れないようにしてください。

取り出す

❶ 両側のフックを開いて、ロックを外します。
❷ 矢印の方向に、引き抜きます。



5. キーボードパネルを閉じる。

３か所のラッチがかかるように、しっかりと閉じてください。

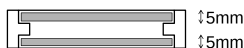
6. 本体裏面のネジを締める。

ディスプレイを閉じて本体を裏返し、プラスドライバーでネジを締めます。

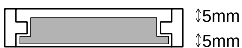
PC（PCMCIA）カード

PC (PCMCIA) カードとは、JEIDA規格に準拠したカードのことをいいます。モデムカード、IC メモリーカード、LAN カード、サウンドカードおよび 1.8 インチ HDD などがあります。





タイプ I とタイプ II（厚さが 5mm を越えないもの）は、上段スロット／下段スロットのどちらでもセットすることができます。また、2 段両方にセットすることもできます。



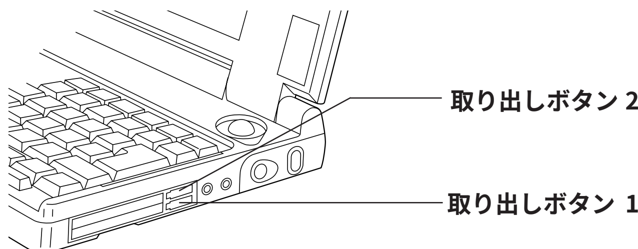
タイプ III（1.8 インチ HDD など）は、下段スロットにセットしてください。

お願い

ご使用の前に、必ず、PC カードの消費電流を確認してください。PC カードスロットの許容電流を超えて使用すると、故障の原因となりますのでご注意ください。
許容電流については、「本体仕様」（P.78）を参照してください。

◆セットのしかた／取り出し方

下段のカードのセット／取り出しには、取り出しボタン 1 を、
上段のカードのセット／取り出しには、取り出しボタン 2 を使います。

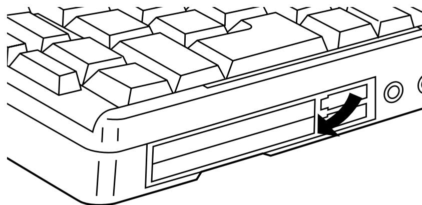


以降に、セットのしかたと取り出し方について説明します。

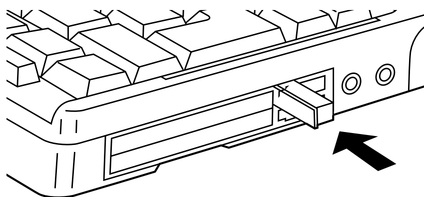
1. カードを取り出す。

ご購入時には、ダミーカード*がセットされています。PC カードをセットするときは、まず、ダミーカードを取り出してください。

❶取り出しボタンの折れ曲がり部分を伸ばす。

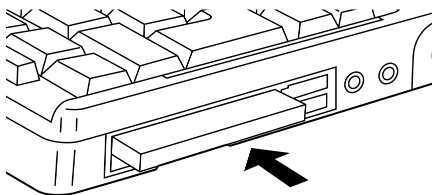


❷ 取り出しボタンを押す。
カードが少し出てきますので、
取り出してください。

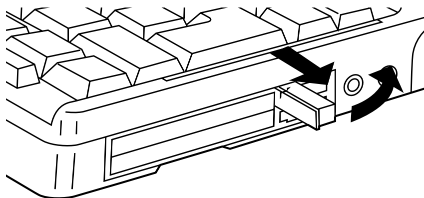


2. カードをセットする。

❶ カードを PC カードスロットにしっかりと差し込む。
取り出しボタンが飛び出ます。



❷取り出しボタンを完全に引き出してから、折り曲げる。

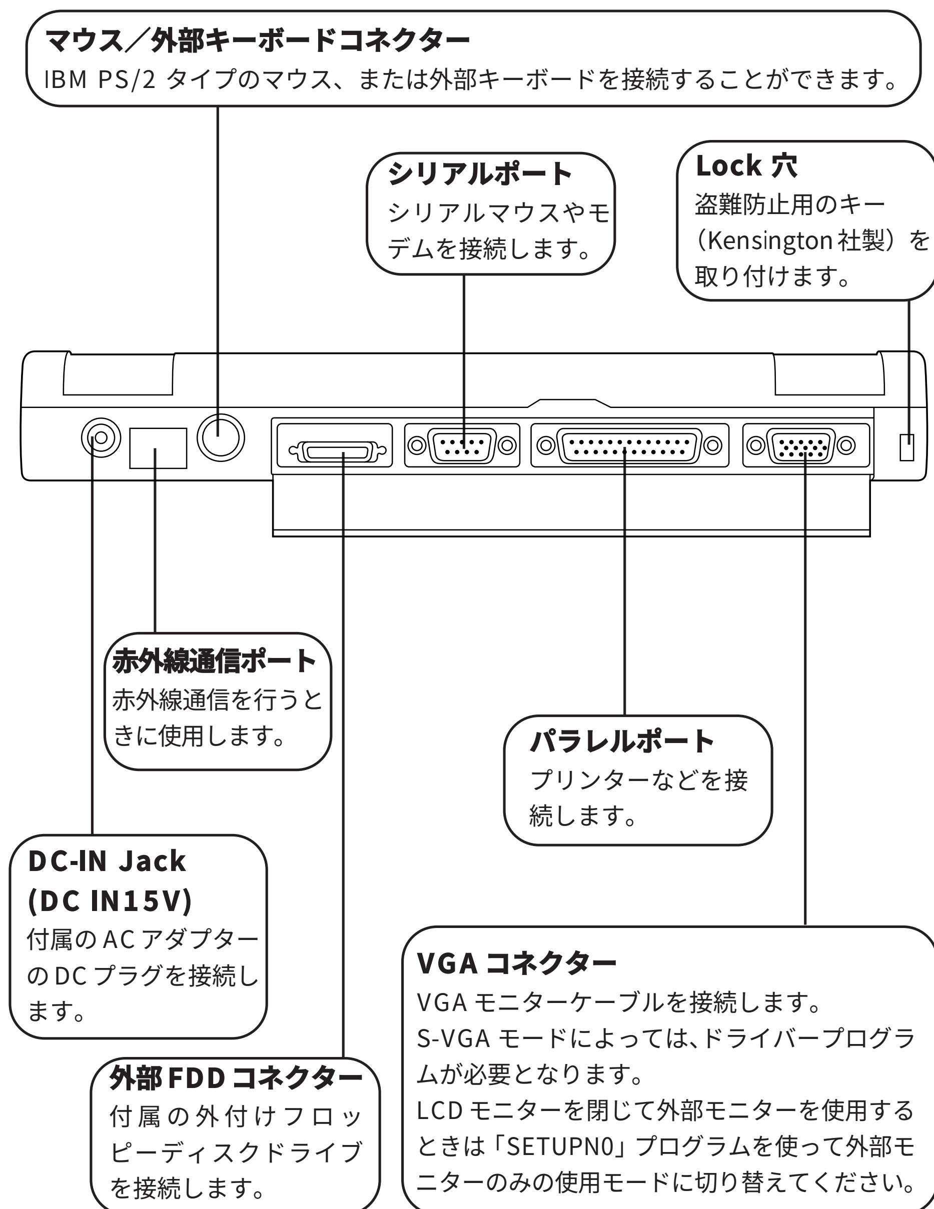


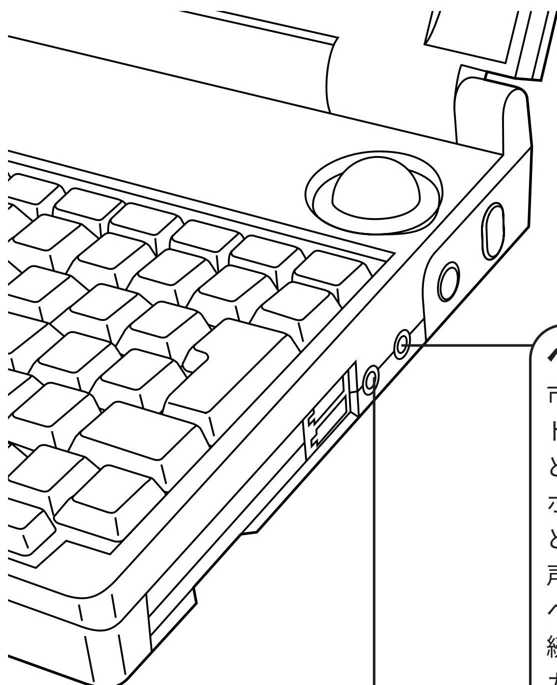
お願い

＊ダミーカードとは、ほこりや異物が入らないように、仮にセットしておくカードのことです。PC カードをセットしないときは、必ず、ダミーカードをセットしておいてください。

周辺機器の接続

接続および取り外しの前に、必ず本体と機器の電源を切ってください。接続後は、しっかりと接続されていることを確認してください。





ヘッドホン端子（PHONES）

市販のオーディオ用モノラルヘッドホン、アンプ付きスピーカーなどを接続します。ステレオヘッドホンやステレオ用のスピーカーなどを接続すると、左側からだけ音声が出力されます。
ヘッドホンまたはスピーカーを接続している場合は、内蔵スピーカーから音声は出力されません。

マイクロホン端子（MIC）

市販のモノラル・ダイナミックマイクロホンのミニジャックタイプを接続します。

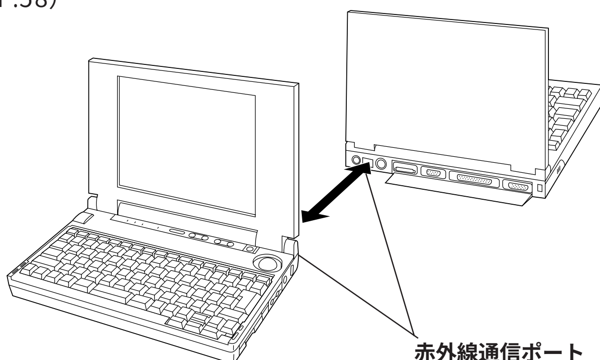
お願い

- 各コネクターへプラグが接続されている状態のときは、ディスプレイを後ろまでいっぱいに開かないでください。ディスプレイ背面とプラグが接触して、損傷の原因となります。
- 後面のカバーは開き過ぎないように（水平位置以上は開けないように）してください。取り付け部が破損するおそれがあります。
- モノラル・ダイナミックマイクロホン以外のマイクロホンをご使用になると、音が入力できなかったり、故障の原因になる場合があります。

他の機器とのデータ通信

赤外線通信機能

本機には赤外線通信ポートが装備されています。赤外線通信ポートを使うと、赤外線通信機能を持った他のコンピューターと、ケーブルを接続することなく通信することができます。
赤外線通信を行う場合は、２つのコンピューターの赤外線通信ポートが真正面に向き合うように置いてください。距離は １ｍ以内で使用してください。20 〜50 cmの範囲内で使用すると、最も安定して通信できます。
また、互いのコンピューター上で赤外線通信ポートを使用可能に設定しておく必要があります。（P.58）



お願い

- ●互いの赤外線通信ポートが真正面に向き合っていないとうまく通信できません。
- ●赤外線通信ポート間の距離が離れすぎていたり、間に遮断物があったりすると、うまく通信できないことがあります。
- ●テレビやビデオ、ワイヤレス・ヘッドフォン、白熱灯、ストーブの発熱部、直射日光などがあると、うまく通信できないことがあります。

バッテリーの上手な使い方

バッテリーの種類

●バッテリーパック
本体内蔵用の充電式のバッテリーパックです。
AC アダプターを使わないときは、このバッテリーから電源が供給されます。
●クロックバッテリー
時計を動かし、初期環境などの設定内容を保持するためのバッテリーで、本体に内蔵されています。

使用温度についてのお知らせ

●本体は、使用環境温度５～３５℃の範囲で操作してください。
使用環境温度が低い場合、バッテリーの駆動時間が短くなります。
●高温、または低温の状態で充電すると、バッテリーの充電容量が低下します。
●通常の放電時に多少あたたかくなることがありますが、異常ではありません。
●バッテリーの性能を維持するために、バッテリーパックの温度が５～４５℃の範囲外の場合は、充電が行われません。
範囲外なのに充電しようとした場合は、BATT インジケーターが５秒間赤色に点滅して、範囲外であることを知らせます。

例えば以下のようなとき、充電が始まりません。

・充電中にバッテリーの温度が上記の範囲より上がったときに、ＡＣアダプターを抜き、再び充電しようとした場合

このようなときは、バッテリーパックを取り外し、温度を範囲内に戻してから、再度、充電を始めてください。

充電についてのお願い

●出荷時には、バッテリーパックは充電されていません。ご使用前に、必ず充電してください。ＡＣアダプターを接続すると、自動的に充電が始まります。
●充電中に、ACアダプターを抜くことは避けてください。充電が完了してから抜くようにしてください。
●他のコンピューター内や他の充電器では充電しないでください。
●充電中、BATT インジケーターが消灯した場合は、内部の保護回路が働き、充電が中止された可能性があります。このような場合は、いったん、AC アダプターとバッテリーパックを本体から取り外し、再度、取り付けてください。また、このような現象が繰り返し起こる場合は、故障ということが考えられますので、「販売店」にご相談ください。

●バッテリーパックを長時間放置していた場合は、使用前に必ず充電してください。この場合、通常の時間で充電が終了しないことがありますが、故障ではありません。
●バッテリーパックの着脱を何度も繰り返し、その度に充電を行うと、過充電となり熱を発生します。バッテリーパックの劣化の原因となりますのでやめてください。
●バッテリーパックは消耗品です。バッテリーの駆動時間が著しく短くなり、充電を何度繰り返しても性能が回復しない場合は、バッテリーパックの寿命です。新しいものと交換してください。

取り扱い上のお願い

「安全上のご注意」（P.5～6 ）に記載の注意事項をよく読み、取り扱ってください。
加えて、以下の点にもご注意ください。

●交換用のバッテリーパックをポケットやカバンに入れて持ち運ぶときは、端子部分がショートするのを防ぐために、ビニール袋に入れることをお勧めします。
●水や海水などをかけないでください。端子がさびる原因となります。
●端子が汚れると、接触が悪くなったり十分に充電できなかったりすることがあります。端子が汚れたときは、乾いた布、綿棒などでふいてください。
●万一、破損によって電解液が流出し、皮膚や衣服に付いた場合は、直ちに大量の水で洗い流してください。もし、身体に異常を感じた場合は、医師にご相談ください。

バッテリー残量の確認

バッテリーの残量を確認する方法には、次の 2 とおりがあります。

・BATT インジケーターで確認する

・３つのインジケーターで確認する　(CapsLK/NumLK/ScrLK)

◆ BATT インジケーターで確認する

BATT インジケーターの状態	充電状態
オレンジ色に点灯	**充電中**
緑色に点灯	**充電完了**
赤色に点灯	**バッテリー残量なし** 充電が必要です。約 7 分後にアラームが鳴ります。早急に AC アダプターを接続してください。 AC アダプターがない場合は、動作中のプログラムを終了し、Windows も終了して POWER インジケーターが消えているのを確認してください。（使用条件により異なります。）
赤色に点滅	**充電できない** バッテリーパックの温度が5〜45°Cの範囲外にあるため、充電できません。いったん、バッテリーパックを取り外し、充電可能な温度に戻してから、再度、取り付けてください。

◆３つのインジケーターで確認する

[Fn] キーを押しながら [F9] キーを押して手を離すと、しばらくの間３つのインジケーター (CapsLK/NumLK/ScrLK) が点灯し、バッテリーの残量を表示します。

３つのインジケーターの状態			残量の目安
CapsLK	NumLK	ScrLK	
■	■	■	61-100%
■	■	□	31- 60%
■	□	□	11- 30%
□	□	□	0- 10%

・"■"は、緑色点灯状態を表わします。
・表示される残量はあくまでも目安です。

お願い

・AC アダプター使用中は、残量を認識できず、３つのインジケーターすべてが点滅します。
・バッテリーパックを交換したり、コンピューターを起動した直後 (Windowsが起動するまで）は、バッテリー残量を認識できなかったり、正確に表示できないことがあります。そのような場合は、バッテリーを満充電状態にする、またはバッテリーインジケーターが赤色に点灯するまで放電すると、残量が認識できるようになります。

キーボードの操作

キーコンビネーション

[Fn] キーを押しながら下記のキーを押すことによって、特殊機能が有効になります。

[F 7] SETUPN0 プログラムの「省電力設定」で「ホットキーハイバーネーション」を有効に設定している場合に、ハイバーネーション機能＊1が働きます。
SETUPN0 プログラムの「省電力設定」で「パワースイッチ」を、「ON-OFF」や「サスペンド」に設定していても、ハイバーネーション機能が働きます。

[F 9] バッテリーの充電状況が３つの LED（CapsLK、NumLK、ScrLK）インジケーターで表示されます。（詳しくは「バッテリー残量の確認」(P.48) を参照してください。）

[F10] 省電力のため、ハードディスクドライブモーター、LCD、バックライトの電源を切ります。任意のキーを押すと、LCDとバックライトの電源が入ります。ハードディスクへのアクセスがあれば、ハードディスクドライブモーターの電源が入ります。
通信ソフトをご使用のときには、通信エラーが起こる場合がありますので、注意してください。

Power スイッチ サスペンド／リジューム機能＊2またはハイバーネーション機能が有効であっても、サスペンドやハイバーネーションせずに電源を切ります。使用中のデータを保存し、Windows を終了した状態で使ってください。

参考

＊1 ハイバーネーション機能
ハードディスクに電源を切る前の状態が保存され、次回電源を入れたときに、すぐに切る前の状態に戻ることができる便利な機能です。

＊2 サスペンド／リジューム機能
ハイバーネーション機能とほぼ同じ役割をします。ただし、ハイバーネーション機能では、電源を切る前の動作状態をハードディスクに保存しますが、サスペンド／リジューム機能ではメモリーに保存するだけです。従って、AC アダプターもしくはバッテリーパックのどちらかが装着されていないと、この機能は働きません。
詳しくは、「省電力設定」(P.62) を参照してください。

特殊キー

[Esc]　アプリケーションソフトによって機能が異なります。

[ScrLK]　アプリケーションソフトによって機能が異なります。

[NumLK]　[Shift] キーを押しながら押して、テンキーを有効にするかどうかを切り替えます。有効にするとテンキーを使って数字を入力できます。
NumLK インジケーター点灯時：テンキー有効
この状態で［Fn］キーを押しながら入力すると、テンキー無効になります。
NumLK インジケーター消灯時：テンキー無効
この状態で［Fn］キーを押しながら入力すると、カーソルや画面の移動キーとして使用できます。

[Pause/Break]　プログラムの実行を中断します。続行する場合は、任意のキーを押してください。[Ctrl] キーを押しながら押した場合は、プログラムの実行を中止します。

[CapsLock/ 英数]　英数字入力になります。[Shift] キーを押しながら押した場合は、CapsLock 状態に入ります。もう一度押すと、解除されます。
CapsLock 状態では、アルファベットキーを押すと、大文字入力になり、[Shift] キーを押しながらアルファベットキーを押すと、小文字入力になります。

[Enter]　コンピューターに対して、コマンドやデータが入力されます。

[Shift]　通常、このキーとともにアルファベットキーが押されると、大文字入力になります。また、このキーとともに数字キーか特殊キーが押されると、キートップの上部に印字されている記号が入力されます。

[Ctrl]　他のキーと同時に押した場合は、特殊機能が有効になります。他の特殊キーと同時に押した場合は、アプリケーションソフトによって機能が異なります。

[Alt]　他のキーと同時に押した場合は、特殊機能が有効になります。他の特殊キーと同時に押した場合は、アプリケーションソフトによって機能が異なります。

環境の設定

初期環境を再インストールする

Windows などは、あらかじめハードディスクにインストールされていますが、ハードディスクが壊れたり、内容を消去してしまった場合、以下の手順に従って、再インストールすることができます。
再インストールの際には、フロッピーディスクを使用しますので、あらかじめ、外付けフロッピーディスクドライブを取り付けておいてください。（P.23）また、はじめて起動したときに作成したシステムディスク（47 枚）を使用しますので、準備してください。

お願い

●再インストール中は、電源を切ったりサスペンド状態にならないようにしてください。

参考

再インストールを行っても、ハードディスクの内容すべてを、初期状態にもどすことはできません。一部のプログラムは再インストールされません。

1. Windows95 をインストールする。

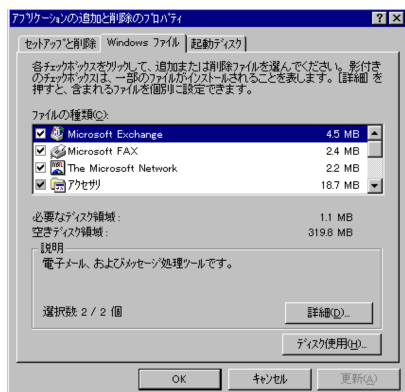
あらかじめ作成しておいた「セットアップ　起動ディスク」をフロッピーディスクドライブにセットし、コンピューターを再起動します。
「Windows 95 セットアップへようこそ」の画面が表示されます。画面に表示されるメッセージに従って、フロッピーディスクを入れ替えながらインストールします。
お買い上げ時の設定にするには、各項目を次のように設定してください。

項目	設定値
組み込み先　フォルダ	C：￥WINDOWS
セットアップ方法	標準

2. 各種ユーティリティプログラムのインストールを行う

「SETUPN0」プログラムやオンラインマニュアル等のユーティリティファイルのインストールをするためには、以下の手順で行ってください。

1. フロッピーディスクドライブに「ユーティリティディスク」をセットする。
2. ［スタート］ボタンをクリックし、［設定（S)］にポインタを置く。
3. ［コントロールパネル］をクリックして、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする。
4. 「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウインドウの［Windowsファイル］タブをクリックする。



5. ［ディスクを使用］のボタンをクリックし、A ドライブを選択して、［OK］ボタンをクリックする。
6. インストールするファイルをすべてチェックする。
7. ［インストール］ボタンをクリックする。

3. 1.2 Mバイトのフロッピーディスクの読み書きができるように設定する。

外付けフロッピーディスクドライブで、3.5インチ2HDフロッピーディスク（1.2Mバイトフォーマット（８セクター））の読み書きをするための設定は、外付けフロッピーディスクが接続されていることを確認して以下の手順で行ってください。

1. ［スタート］ボタンをクリックし、［設定（S）］にポインタを置く。
2. ［コントロールパネル（C）］をクリックして、「システム」アイコンをダブルクリックする。
3. 「システムのプロパティ」ウインドウの［デバイスマネージャ］タブをクリックする。
4. ［フロッピーディスクコントローラ］をダブルクリックする。
5. ［スタンダードフロッピーディスクコントローラ］をダブルクリックする。
6. 「スタンダードフロッピーディスクコントローラのプロパティ」ウインドウの［ドライバ］タブをクリックして、［ドライバの変更 (C)］ボタンをクリックする。
7. 「デバイスの選択」ダイアログボックスの［ディスクの使用 (H)］をクリックする。
8. フロッピーディスクドライブに「ユーティリティディスク」をセットし、「配布ファイルのコピー元」にＡ：\ とタイプし、［OK］ボタンをクリックする。
9. 「パナソニック３モードフロッピーディスク（AL-N0 シリーズ）」と表示されていることを確認して、［OK］ボタンを２度クリックする。（ユーティリティディスクからのコピーが行われます。）
10. フロッピーディスクドライブから「ユーティリティディスク」を抜いて、「システム設定の変更」ダイアログボックスの［はい］をクリックする。

4. ［スタート］メニューに［サスペンド］コマンドを追加する。

1.［スタート］ボタンをクリックし、［設定（S）］にポインタを置く。
2.［コントロールパネル］をクリックして、「パワーマネージメント」アイコンをダブルクリックする。
3.「電源のプロパティ」で［スタート］メニューの［サスペンド］コマンドを「常に表示（Y)」に設定する。
［スタート］メニューの［サスペンド］コマンドはWSETUPN0（P.56）で設定した電源スイッチの設定状態に応じて動作します。

パワースイッチの設定	［スタート］メニューの［サスペンド］を選んだ場合
ON/OFF	サスペンド
サスペンド	サスペンド
ハイバーネーション	ハイバーネーション

5. 赤外線通信ポートを設定する。

1.「スタート」ボタンをクリックし、「設定（S）」にポインタを置く。
2.「コントロールパネル（C)」をクリックして、「ハードウエア」アイコンをダブルクリックする。
3.「ハードウエアウィザード」が起動したら、「次へ」ボタンをクリックする。
4.「いいえ」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする。
5.「ハードウエアの種類（H)」で、赤外線デバイスを選択し、「次へ」ボタンをクリックする。
6.「赤外線デバイスウィザード」が起動したら、「次へ」ボタンをクリックする。
7.「製造元（M)」で「(スタンダード赤外線デバイス)」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする。
8.「一般の赤外線シリアルポート（ＣＯＭ２)」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする。
9.「標準のポートを使用」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする。(赤外線通信ドライバーがセットアップされます。WindowsのDiskを挿入するメッセージが表示されたら指示に従ってください。
10.「完了」ボタンをクリックする。

6. Nifty Manager をインストールする。

1. フロッピーディスクドライブにあらかじめ作成しておいた「Nifty セットアップディスク 1」をセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行」をクリックする。
3. 「名前」に 「a : \ setup.exe」とタイプして、「O K」ボタンをクリックする。
4. 画面に表示されるメッセージに従って、フロッピーディスクを入れ替えながらインストールする。

7. PC カードを使用できるように設定する。

1. 「スタート」ボタンをクリックし「設定（S)」にポインタを置く
2. 「コントロールパネル（C)」をクリックして「PC カード（PCMCIA)」アイコンをダブルクリックする
3. PC カード（PCMCIA）ウィザードが起動したら指示に従って設定を行う。

動作環境を設定する

ユーティリティープログラム WSETUPN0 でコンピューターの動作環境を設定します。以下の環境設定ができます。

＜システム設定＞

現在の時刻や日付、シリアルポートやパラレルポートのI/Oアドレス、IrDA（赤外線通信）ポートのI/Oアドレス、データ転送方向、使用するマウスのタイプなどの設定ができます。

＜ビデオ設定＞

外部モニターを接続している時には、外部モニターと内部LCDとの画面表示の切り替えができます。また、ディスプレイのスクリーンサイズを設定できます。

＜セキュリティー設定＞

データ等を保護するためのパスワード機能の有無やコンピューター起動時の起動ドライブなどを設定できます。

＜省電力設定＞

無駄に電気を消費しないようにコンピューターを制御します。

＜標準設定＞

全項目を標準の設定にします。

＜保存＆再起動＞

設定された内容を保存しシステムを再起動します。

◆ WSETUPN0 プログラムを起動する

1. **［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム（P)］にポインタを置く。**

2. **［Panasonic］にポインタを置き、［WSETUPN0］をクリックする。**

WSETUPN0 のプログラムの画面が表示されます。



お願い

WSETUPN0でシステムパスワードを設定（有効または変更）して保存＆再起動した直後は起動時のパスワードの入力を行う必要はありません。電源のON/OFFやリセットを行ったり、サスペンド／リジューム機能を使用した場合にパスワードの入力が必要になります。

◆システム設定

「システム設定」を選択すると、以下の画面が表示されます。

システム設定

時間(T)　11:50:32

日付(E)　95/12/01

パラレルポート

アドレス(A)　○3BC　◉378　○OFF

データ転送方向(R)　◉双方向　○単方向　○EPP　○ECP

シリアルポート(S)　◉3F8(IRQ4)　○2F8(IRQ3)　○OFF

IrDA ポート(I)　○3F8(IRQ4)　◉2F8(IRQ3)　○OFF

マウス(M)　◉内蔵ﾄﾗｯｸﾎﾞｰﾙ/ﾏｳｽﾎﾟｰﾄ　○ｼﾘｱﾙﾎﾟｰﾄ

OK　ｷｬﾝｾﾙ　標準設定(D)　ﾍﾙﾌﾟ(H)

各項目にポインタを合わせて左ボタンでクリックすると、選択された項目にマークがついたり、カーソルが表示されます。

1. 時間

変更したい項目の位置にポインタを置いてダブルクリックすると、その位置が反転されます。0から9までの数字を使って入力します。

2. 日時

年-月-日の形式で表示されています。時間と同じようにポインタを置いてダブルクリックし、0から9までの数字を使って入力します。

3. アドレス（パラレルポート）

パラレルポートのアドレスを割り当てます。
「3BC」、「378」、「OFF」から選択します。標準設定は「378」です。

4. データ転送方向（パラレルポート）

パラレルポートのデータ転送方向を割り当てます。
「双方向」、「単方向」、「EPP」、「ECP」から選択します。標準設定は「双方向」です。
また、「EPP」、「ECP」は、「アドレス（パラレルポート）」の設定が「378」のときのみ、選択可能です。

5. シリアルポート

シリアルポートのアドレスを割り当てます。
「3F8 (IRQ4)」、「2F8 (IRQ3)」、「OFF」から選択します。標準設定は「3F8 (IRQ4)」です。

6.IrDA ポート

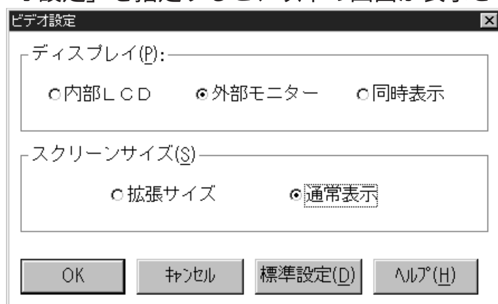
赤外線通信ポートのアドレスを割り当てます。
「3F8 (IRQ4)」、「2F8 (IRQ3)」、「OFF」から選択します。標準設定は「2F8 (IRQ3)」です。

7. マウス

使いたいマウスの初期設定を行います。「内蔵トラックボール／マウスポート」か「シリアルポート」かを指定します。
「内蔵トラックボール／マウスポート」は、内蔵のトラックボールかPS/2タイプの外部マウスを使用する場合で、「シリアルポート」は、マウスをシリアルポートに接続して使用する場合です。標準設定は「内蔵トラックボール／マウスポート」です。
「シリアルポート」を選択する場合は、「 シリアルポート」の設定を「3F8 (IRQ4)」または「2F8 (IRQ3)」にしてください。

◆ビデオ設定

「ビデオ設定」を指定すると、以下の画面が表示されます。



参考

マウス操作は、「システム設定」の場合と同じです。

各項目の設定方法を以下に説明します。

1. ディスプレイ

起動時に使用するディスプレイを指定します。
「内部LCD」、「外部モニター」、「同時表示」の中から選択します。
標準設定は「外部モニター」です。
内部LCDを使用する場合、「内部LCD」を指定します。外部モニターを使用する場合、「外部モニター」を指定します。内部LCDと外部モニターの両方を使用する場合、「同時表示」を指定します。

参考

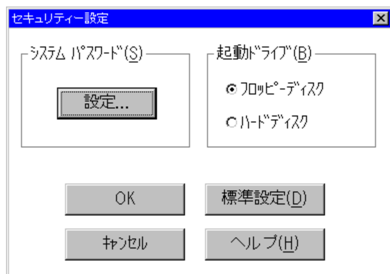
起動時に外部モニターが接続されていない場合は、「ディスプレイ」が「外部モニター」に設定されていても、内部LCDに情報を出力します。

2. スクリーンサイズ
（LCD英語テキストモード時の設定）

LCDモードの画面の大きさを指定します。「拡張サイズ」（19ドット/テキスト）か「通常表示」（16ドット/テキスト）かを指定します。標準設定は「通常表示」です。

◆セキュリティー設定

「セキュリティー設定」を指定すると、以下の画面が表示されます。



参考

マウス操作は、「システム設定」の場合と同じです。
システムパスワードの設定は [D] キーで標準設定しても変更されません。

1. システムパスワード　コンピューターを起動する際のパスワードを設定します。システムパスワード機能を「無効」、「有効」、「変更」のいずれかに設定します。出荷時は「無効」に設定されています。
また、システムパスワードが登録されていない場合、「変更」項目は表示されません。

2. 起動ドライブ　どのドライブに入っているシステムを使って起動するかを指定します。「フロッピーディスク」か「ハードディスク」を設定します。標準設定は「フロッピーディスク」です。

<パスワードの登録と変更の手順>

「セキュリティー設定」の画面で［設定］ボタンを押してください。「システムパスワード」のダイアログボックスが表示されます。「有効」または「変更」を選択して、以下の手順に従って、パスワードを登録してください。

1. **「変更」を選択した場合、現在のシステムパスワードを入力する枠にカーソルを移動し、現在登録されているパスワードを入力する。**

2. 新しいシステムパスワードを入力する枠にカーソルを移動し、新しいパスワード（７文字以内）入力する。

お願い

コントロールキー、カーソルキー、特殊キー、ファンクションキー、タブキー、スペースキー、バックスペースキーは、パスワードとして使用できません。

3. 新しいシステムパスワードを再入力する枠にカーソルを移動し、再度システムパスワードを入力して［OK］ボタンをクリックする。

手順 2 で入力したパスワードを再度、入力します。パスワードが合致すれば、WSETUPN0 のセキュリティー設定画面が再び表示されます。
再度入力したパスワードが最初のパスワードと異なっていた場合、次のメッセージが表示されます。

新しいパスワードと再度入力したパスワードが一致しません．
再度，入力しますか．

[はい] をクリックすると、システムパスワードを設定する画面が表示されます。もう一度操作してください。
[いいえ] をクリックすると、「セキュリティー設定」ダイアログボックスに戻ります。

お願い

設定したパスワードは、手帳などにメモしておくことをお勧めします。
また、入力の際は、MS-IME95などの日本語入力を終了してから入力してください。

◆省電力設定

＜サスペンド／リジューム機能とは＞

電源を切った後、再度電源を入れたときに、電源が切れる前の状態に戻すことができる便利な機能です。この機能により、中断した操作をすぐに再開することができます。
ただし、バッテリーパックもしくはACアダプターのどちらかが装着されていないと、この機能は働きません。

＜ハイバーネーション機能とは＞

電源を切る前の状態がハードディスクに保存され、次回、電源を入れたときに、切る前の状態にすぐに戻ることができる機能です。
サスペンド／リジューム機能との違いは、メモリー上のデータが、いったんハードディスクに保存されることです。電源の供給がなくてもデータを保持することができるので、ハイバーネーション機能を有効にして電源スイッチを切った後、バッテリーパックとACアダプターの両方を取り外しても、次回、電源を入れたときには元の状態に戻ることができます。

サスペンド／リジューム機能やハイバーネーション機能を使うと、以下のようなことが行えます。

・アプリケーションプログラムを使っているとき、アプリケーションプログラムから抜けなくても、単に電源を切ったり入れたりするだけでプログラムを中断させたり、再開させたりできます。
・WSETUPN0 プログラムで、「サスペンド／ハイバーネーションタイムアウト」の時間間隔を設定していると、一定時間コンピューターを触らなかった場合に自動的に電源を切って、電力の消費を抑えます。再度、電源を入れたときには切る前の状態に戻ります。

お願い

●バッテリーパックのみでサスペンド／リジュームを行うと、本体の電源を入れても、電源が切れる前の状態に戻らないことがあります。ACアダプターをつなぐか、十分充電してから、電源を入れてください。
●システムパスワードが設定されていて、サスペンド／リジューム機能を使用する場合、サスペンド／リジューム時に、1分間 LED インジケーター（CapsLK、NumLK、ScrLK）が点滅します。この間に、システムパスワードを入力してください。1分間経過するか3回パスワードを誤ると、再度サスペンドします。パスワード待ちの間、電源スイッチは働きません。
●サスペンド／リジューム処理中は、トラックボール、マウスを動かさないでください。動かすと、リジュームした後、トラックボールやマウスが動作しなくなります。
●フロッピーディスクドライブやハードディスクドライブの動作中は、絶対に、コンピューターの電源スイッチを押さないでください。

<サスペンド／リジューム機能およびハイバーネーション機能使用上の注意>

●マウス、モデム、その他のシリアルデバイスは、サスペンド／リジューム後、システムに認識されないことがあります。そのようなときには、デバイスを初期化し直してください。

● PC カードなど周辺装置が本機に接続されている場合、サスペンド／リジューム機能およびハイバーネーション機能はこれらの周辺装置では使えません。
また、PCカードをセットしたままサスペンド状態に入ると、サスペンド中の消費電力が増えることがあります。

●サスペンド／リジューム機能およびハイバーネーション機能は、以下のアプリケーションプログラム動作中には使用できないことがあります。

Windows95やMS-DOS以外のOS
Diag（自己診断）プログラム

●通信ソフト動作中はサスペンド／リジューム機能およびハイバーネーション機能は使用しないでください。エラーが発生します。

●オーディオの録音または再生中は、サスペンド状態およびハイバーネーション状態にしないでください。実行ファイルとデータが壊れる可能性があります。

<サスペンド／リジューム機能使用上の注意>

●リセットスイッチを押すと、サスペンド／リジューム機能によって保存されていたデータは失われます。

<ハイバーネーション機能使用上の注意>

●ハイバーネーション機能を使用するためには、内蔵ハードディスク上に、メモリーデータ書き出し用に一定の空き領域が必要です。領域は、WSETUPN0 プログラムでハイバーネーション機能を設定すると、実装メモリーの大きさに合わせて自動的に確保されます。

●メモリーを増設したときやハードディスクをフォーマットしたときには、必ず、WSETUPN0 プログラムを起動し、「省電力設定」の「パワースイッチ」の項目でハイバーネーション機能を再設定してください。
再設定しない場合は、「パワースイッチ」は、「サスペンド」に設定されています。

参考

サスペンド／リジューム機能を有効に設定している場合に、電源を切ったときの状態を「サスペンド状態」、次に電源を入れたときに元の状態に戻ることを「リジュームする」と言います。

<オートサスペンド／ハイバーネーション機能とは>

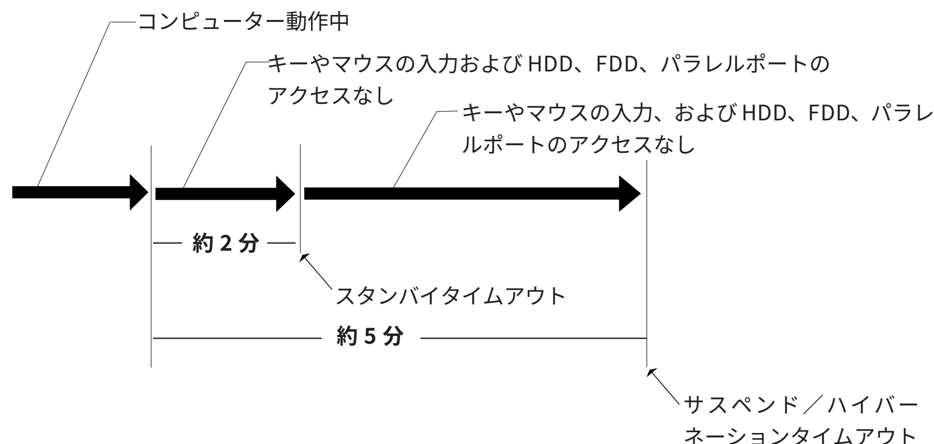
一定時間、キーやトラックボール、マウスの入力およびHDD、FDD、パラレルポートのアクセスがないと、自動的に電源を切る機能です。
オートサスペンド／ハイバーネーション機能を設定するには、WSETUPN0 プログラムを起動し、「省電力設定」の項目で「パワースイッチ」を「サスペンド」または「ハイバーネーション」に設定し、「サスペンド／ハイバーネーションタイムアウト」で時間を「5分」か「20分」に設定します。

参考
動作がオートサスペンド／ハイバーネーション機能によって中断された場合、再度電源スイッチを入れると、元の画面が復元されます。

<スタンバイ機能とは>

一定時間、キーやマウスの入力およびHDD、FDD、パラレルポートのアクセスがないと、ハードディスクドライブモーターを止めて、LCD、バックライトを消します。スタンバイタイムアウトとサスペンド／ハイバーネーションタイムアウトの両方が設定されている場合は、スタンバイ状態に入った後、サスペンド状態またはハイバーネーション状態になります。
スタンバイ機能を設定するには、WSETUPN0 プログラムを起動し、「省電力設定」の項目で「省電力」を「有効」に設定します。

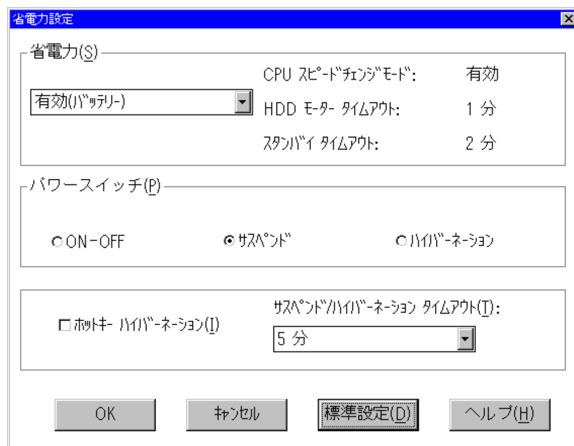
例）　スタンバイタイムアウト：約２分
　　　サスペンド／ハイバーネーションタイムアウト：約５分



[Fn] キーを押しながら [F10] キーを押すと、コンピューターがスタンバイ状態になります。キーボード（[Fn] キーを除く）、内蔵トラックボール／マウスポートの入力があった場合には、再び LCD とバックライトの電源が入ります。

<省電力設定>

バッテリーパックを長時間使用するための省電力機能と、コンピューターの操作を中断するときに便利なサスペンド／リジューム機能やハイバーネーション機能の設定方法を以下に説明します。
WSETUPN0 プログラムで「省電力設定」を選ぶと、以下の画面が表示されます。



1. 省電力

省電力機能を「有効（バッテリー)」、「有効（バッテリー/AC アダプター)」、「無効」のいずれにするかを設定します。標準設定は「有効（バッテリー)」です。

CPU スピードチェンジモード

キーやマウスの入力待ちのような場合、節電のために、CPUの速度を下げます。「省電力」を「有効」に設定すると、「CPU スピードチェンジモード」は自動的に「有効」になります。

HDD モータータイムアウト

ハードディスクドライブが一定時間内にアクセスされないとき、ドライブモーターが自動的に停止します。
「省電力」を「有効」に設定すると、「HDD モータータイムアウト」は自動的に「1 分」になります。

スタンバイタイムアウト

キーやマウスの入力、パラレルポート、HDDのアクセスが一定時間なければ、自動的にスタンバイ状態になります。「省電力」を「有効」に設定すると、「スタンバイタイムアウト」は自動的に「2 分」になります。

2. パワースイッチ

「ON-OFF」、「サスペンド」、「ハイバーネーション」のいずれかを指定します。「ON-OFF」を指定すると、電源スイッチのON/OFF時にサスペンド／リジューム機能もハイバーネーション機能も働きません。「サスペンド」を指定すると、サスペンド／リジューム機能が有効になります。「ハイバーネーション」を指定すると、ハイバーネーション機能が有効になります。標準設定は「サスペンド」です。

3. サスペンド／ハイバーネーションタイムアウト

キーやマウスの入力が一定時間なく、パラレルポート、HDD、FDDのアクセスがなかったとき、コンピューターの電源を自動的に切ります。
電源スイッチを押して、再び電源を入れたとき、停止した状態から動作を開始します。
「無効」「５分」「20分」から選択します。標準設定は「５分」です。また、「パワースイッチ」の設定で「ON-OFF」を指定していると、この機能は、自動的に「無効」に設定されます。

4. ホットキーハイバーネーション

ホットキーハイバーネーション機能が「有効」か「無効」かを指定します。
「有効」に設定しておくと、「パワースイッチ」の設定で「ON-OFF」あるいは「サスペンド」を指定していても、[Fn] キーを押しながら [F7] キーを押すと、ハイバーネーション機能が働きます。
標準設定は「無効」です。また、「パワースイッチ」の設定で「ハイバーネーション」を指定していると、この機能は、自動的に「有効」に設定されます。

お願い

「省電力」で「有効（バッテリー）」または「無効」が設定されている場合、ACアダプターを接続していると、サスペンド／ハイバーネーションタイムアウトは働きません。

＜［スタート］メニューの［サスペンド］について＞

［スタート］メニューの［サスペンド］コマンドを選ぶと、WSETUPN0で設定した内容に応じて次のような働きをします。

パワースイッチの設定	**［スタート］メニューの［サスペンド］を選んだ場合**
ON-OFF	サスペンド
サスペンド	サスペンド
ハイバーネーション	ハイバーネーション

デスクトップ領域の大きさや色数を変更する

1. スタートボタンをクリックし、[設定(S)]にポインタを置く。

2. [コントロールパネル(C)]をクリックする。

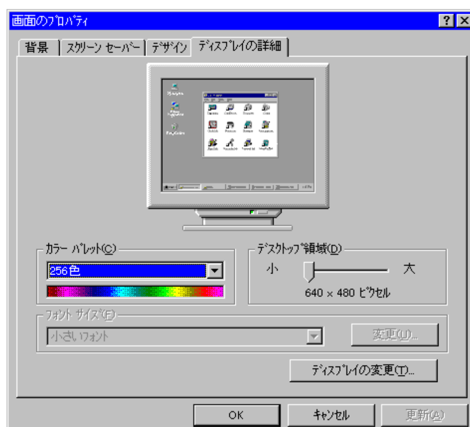
「コントロール　パネル」が開きます。

3. 「画面」をダブルクリックする。

「画面のプロパティ」が開きます。

4. 「ディスプレイの詳細」をクリックする。

デスクトップ領域の大きさ、色数、ディスプレイドライバー、外部接続モニターの種別等を設定する画面が開きます。



＜設定できるデスクトップ領域と色数＞

設定できるデスクトップ領域と色数は「WSETUPN0」プログラムで設定する「ビデオ設定」の設定内容によって変わります。それぞれの条件に応じて適切に設定してください。

	外部モニター	内部 LCD	同時表示
640 × 480 ドット　16 色	○	○	○
640 × 480 ドット 256 色	○	○	○
640 × 480 ドット 16 bit 色	○	○	○
800 × 600 ドット　16 色	○	○※	○※
800 × 600 ドット 256 色	○	○	○
1024 × 768 ドット 256 色	○	○	○

※内部 LCD では画面の左上の 640 × 480 ドットの範囲のみ表示されます。

参考

- 「ディスプレイの詳細」の「ディスプレイの変更（T）」のボタンを押すと、アダプタとディスプレイの種類を変更できるようになっています。標準の設定は「アダプタの種類」は "Chips & Tech. Accelerator" で「ディスプレイの種類」は任意に選択してください。
- 800 × 600 または 1024 × 768 のディスプレイドライバーを選択した場合、外部モニターを接続したときはその解像度で表示できますが、LCD モニターのときはディスプレイには 640 × 480 の画像サイズの領域しか表示されません。

メモリーの扱い方

メモリーの種類

本機は、以下の様なメモリー構成になっています。

メモリーマップ

領域	アドレス
基本メモリー	00000H
ビデオRAM	A0000H
ビデオBIOS	C0000H
	CBFFFH
メインBIOS	F0000H
拡張メモリー	100000H

■基本メモリー

最初の 640K バイトの RAM は、基本メモリーと呼ばれます。MS-DOS が使用されているとき、アプリケーションプログラムは、通常基本メモリーで動きます。

■拡張メモリー

最初の 1M バイトより上位のメモリー領域は、拡張メモリーと呼ばれています。このメモリー領域は、80286以上のCPUでしか動かないOSやアプリケーションプログラムを動かすために使用されます。この領域で動く主なプログラムに、OS/2 や Windows があります。

困ったときに開くページ

本機を動かそうとして、思ったとおりに動かないことがあります。おかしいな？と思ったら、このページを読んでください。また、ソフトウェアによる原因も考えられますので、Windowsやアプリケーションソフトなど各ソフトウェアのマニュアルも参照してください。
どうしても原因がわからないときは、お買い上げになった販売店または当社ご相談窓口にご相談ください。

起動時の問題

こんなときは	ここをお調べください
操作できない	●本体の AC アダプターは、本体の電源コネクターおよび電源コンセントに差し込まれていますか？ ●十分充電されたバッテリーパックが正しく入っていますか？ ●本体裏面のリセットスイッチを押して、本機を再起動させたあと正常に動作しませんか？
ディスプレイの画面に何も表示されない	●コントラスト調節ボタンは正しく調節されていますか？ ●省電力機能によって、自動的にディスプレイが消えることがあります。いずれかのキーを押すと、元に戻ります。 ●SETUPN0プログラムで外部モニターが選ばれていませんか？
ディスプレイの画面が暗すぎる	●コントラスト調節ボタンは正しく調節されていますか？ ●輝度調節ボタンは正しく調節されていますか？
画面上の日付／時刻の表示が違っている	●コントロールパネルか SETUPN0 プログラムを使って、正しい日付／時刻を設定してください。 ●日付／時刻の情報を保持しているクロックバッテリー（リチウム電池）が切れかかっているおそれがあります。 お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。
システムパスワードを忘れてしまった	●お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。

操作中の問題

こんなときは	ここをお調べください
操作中に本機が動かなくなった	●バッテリーパックを使って操作していたときは、バッテリーが切れたおそれがあります。AC アダプターを接続してください。 ●使っていたアプリケーションソフト上の問題でシステムが止まってしまった可能性があります。そのソフトウェアの使用を中止し、リセットスイッチを押し本機を再起動してください。
バッテリーインジケーターが赤く点灯している	●バッテリー残量がありません。ACアダプターを接続してください。 ●ACアダプターが正しく接続されていない可能性があります。正しく接続し直してください。
バッテリーインジケーターが赤く点滅している	●バッテリーパックが正しく装着されていない可能性があります。正しく装着し直してください。 ●それでも赤く点滅するようであれば、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。
バッテリーインジケーターの赤色点灯が長く続いている	●急激な温度変化があると、赤色点灯が長く続くことがあります。
使用中に「ピー・ピー」と音が鳴り始めた	●バッテリーが切れかかっています。ACアダプターを接続してください。

ディスプレイ画面の問題

こんなときは	ここをお調べください
ディスプレイ画面が消えた	●省電力機能によって、スタンバイ状態になることがあります。スタンバイ状態では、いずれかのキーを押すと、元に戻ります。
残像が現れる	●イメージが画面に残ると、画面に焼きつき、残像となることがあります。これは、異常ではありません。別の画面が現れてしばらくたつと、残像は消えます。
画面に緑、赤、青のドットが残る	●これらのドットが残るのは、カラー液晶ディスプレイの特質です。故障ではありません。

ドライブの問題

こんなときは	ここをお調べください
フロッピーディスクドライブにアクセスしない	●外付けフロッピーディスクドライブが正しく接続されていますか？ ●フロッピーディスクは正しくセットされていますか？ ●フロッピーディスクは初期化されていますか？ ●ライトプロテクトタブが書き込み禁止の状態になっていませんか？
フロッピーディスクが初期化できない	●コマンドを正しく入力しましたか？　また、コマンドパラメーターに誤りはありませんか？ ●ライトプロテクトタブが書き込み禁止の状態になっていませんか？
ハードディスクドライブにアクセスしない	●ハードディスクを正しく準備していますか？ ●原因がわからない場合は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。

周辺機器の問題

こんなときは	ここをお調べください
プリンターが動かない	●ケーブルが本体・プリンター間で正しく接続されていますか？ ●プリンターの電源は入っていますか？ ●プリンターがオンライン状態になっていますか？ ● SETUPN0 プログラムで、「アドレス（パラレルポート）：」を「378」または「3BC」に設定してください。
マウスが使えない	●マウスケーブルが本体に正しく差し込まれていますか？ ●マウスのデバイスドライバープログラムがロードされ、動いていますか？ 詳しくは、お使いのアプリケーション、またはマウスのプログラムのマニュアルを参照してください。 ●マウスがシリアルポートに接続されている場合は、SETUPN0 プログラムで「マウス」の設定で「シリアルポート」を選択してください。その後、「シリアルポート」を「3F8 (IRQ4)」か「2F8 (IRQ3)」に設定してください。 ● PS/2 マウスが外部キーボード／マウスポートに接続されている場合は、SETUPN0 プログラムで「マウス」の設定で「内蔵トラックボール／マウスポート」を選択してください。
トラックボールが使えない	●マウスのデバイスドライバープログラムがロードされ、動いていますか？ 詳しくは、お使いのアプリケーションプログラムのマニュアルを参照してください。 ● SETUPN0 プログラムのマウスの設定が「内蔵トラックボール／マウスポート」になっていますか？ ●トラックボールが汚れていると動きが悪くなることがあります。トラックボールを清掃してください。

こんなときは	ここをお調べください
PC カードが使えない	●カードは正しくセットされていますか？ ●当社指定以外のカードを使用していませんか？ ●適切なドライバープログラムがインストールされていますか？ ● PC カードが使用している I/O アドレス、IRQ ナンバー、チャンネルを確認し、設定し直してください。 **〈I/O アドレス〉** 以下のアドレスをさけて設定し直してください。 I/O : 000H-00FFH (システムボード) x1F0H-x1F7H (ハードディスクドライブ) x222H-x22EH (サウンド) x2F8H-x2FFH (赤外線通信ポート) *1 x378H-x37FH (パラレルポート) *2 x388H-x389H (FM) x3B0H-x3BBH (VGA) x3BCH-x3BFH (パラレルポート) *2 x3C0H-x3DFH (VGA) x3E0H-x3E1H (PC カードコントローラー) x3F0H-x3F7H (フロッピーディスクコントローラー) x3F8H-x3FFH (シリアルポート) *3 アドレスの頭の“ x ”は、アドレスライン（A15-A10）の値に関係なくそのアドレスが使えないことを意味します。 *1 赤外線通信（IrDA）ポートアドレスは、SETUPN0 プログラムで 2F8H、3F8H、OFF のいずれかに設定できます。 *2 パラレルポートアドレスは、SETUPN0 プログラムで 378H, 3BCH, OFF のいずれかに設定できます。 *3 シリアルポートアドレスは、SETUPN0 プログラムで 3F8H, 2F8H, OFF のいずれかに設定できます。 **〈IRQ ナンバー〉** 以下のいずれかに設定してください。 IRQ： 3*1, 4*2, 7*3, 9, 10, 11, 15 *1 IRQ3 は、通常、COM2（赤外線通信ポート）が使用しています。 *2 IRQ4 は、通常、COM1（シリアルポート）が使用しています。 *3 IRQ7 は、通常、プリンターに使用されます。 PC カードで、IRQ3 または IRQ4 を使用するときは、SETUPN0 プログラムでシリアルポートまたは赤外線通信（IrDA）ポートを「無効」にしてください。

自己診断プログラム

DIAGN0 プログラム

DIAGN0 プログラムを使うと、本機各部の動作のテストをすることができます。テストしたい項目は、診断メニューから選択します。

1. フロッピーディスクドライブに「保存ディスク」をセットし、本機を起動する。

2. MS-DOS のプロンプト（A：＼）に続けて、以下のように入力する。

DIAGN0 [Enter]

3. 結果を印刷するかどうかの確認画面が表示されるので、印刷する場合は[Y]キー、印刷しない場合は [N] キーを押す。

```
        DIAGNOSTIC MENU  ( V*.* L**)

          1. TEST ALL DEVICES (■ DEVICES)
          2. TEST AUTOMATICALLY (■ DEVICES)
          3. CHANGE MENU
          4. EXIT
■         5. MAIN BOARD
■         6. ***KB RANDOM ACCESS MEMORY
■         7. KEYBOARD
          8. TRACK BALL
■         9. VIDEO
■        10. 1 HARD DISK DRIVE (S)
■        11. 1 FLOPPY DISK DRIVE (S)*
         12. 1 PARALLEL PORT (S)**
■        13. 2 SERIAL PORT (S)**
         14. SOUND

SELECT MENU : 1
```

注）＊　フロッピーディスクドライブがセットされていない場合、11の項目は表示されません。

＊＊ SETUPN0 の設定によっては 12、13 の項目が表示されません。

4. カーソルキー（[↑]、[↓]）でテストしたい項目にカーソルを合わせて [Enter] キーを押すか、テストしたい項目の番号を入力して [Enter] キーを押す。

自己診断テスト（キーボード以外）を中止する場合は、[Ctrl] キーを押しながら [Pause] キーを押してください。

◆キーボードの操作

キー	結果
Esc	前画面に戻ります。
↑ ↓	カーソルを上下に移動し項目を変更します。
Enter	テストを始めます。
Ctrl + P	プリンターへ出力するかしないかを切り替えます。
Ctrl + Pause Break	実行中の診断プログラムを停止します。（キーボードテストは停止できません。）

◆主なテスト内容

DIAGN0 の主なテスト内容や注意点について説明します。
（一部の項目の説明は省略しています。）

テスト項目	内容と注意
TEST ALL DEVICES	すべての項目範囲から ■ の付いた項目を選択し、テストします。
TEST AUTOMATICALLY	■ の付いた、すべての項目を自動的にテストします。
CHANGE MENU	"TEST ALL DEVICES" と "TEST AUTOMATICALLY" でテストする項目（■ 印）を選択することができます。項目にカーソルを移動させ [Enter] キーを押すと ■ 印を付けたり、消したりできます。
EXIT	自己診断プログラムを終了し、コンピューターを再起動します。
MAIN BOARD	各種集積回路のテストを行います。 キーボードからは何も入力しないでください。
***KB RANDOM ACCESS MEMORY	基本メモリーと拡張メモリーをテストします。
VIDEO	S-VGA 高解像度モードのテストは、外部モニターのみが使われている状態で行ってください。SETUPN0 を使ってディスプレイを切り替えてから DIAGN0 を起動してください。
1 HARD DISK DRIVE（S） 1 FLOPPY DISK DRIVE（S）	それぞれディスクのデータの書き込み、読み出しを行います。 ハードディスクのバックアップを取っておいてください。 消去可能なフロッピーディスクを使用してください。
1 PARALLEL PORT（S） 2 SERIAL PORT（S）	[EXTERNAL LOOPBACK TEST] では、外部接続コネクターに接続された回線との応答テストを行います。 パラレルポートとシリアルポートにコネクターを接続した状態で行ってください。
Sound	FM 音源での再生をテストします。

BIOS が表示するエラーコード一覧

BIOS のエラーが発生した場合は、起動時に以下のようなエラーコードが表示されます。[F1] キーを押すと、続行されますので、SETUPN0 コマンドを起動して設定内容を確認した後、システムを再起動してください。
各エラーコードの意味は以下のとおりです。

エラーコード	意味
101	割り込みコントローラーのエラーです
102	タイマーのエラーです
114	ROM チェックサムエラーです
151	リアルタイムクロックのエラーです
162	CMOS の設定が誤っています
163	クロックが動作していません
164	CMOS メモリーサイズが誤っています
201	メモリーのデータエラーです
301	キーボードのエラーです
303	キーボードとシステムボードのインターフェースエラーです
601	フロッピーディスクドライブかコントローラーのエラーです
602	起動しようとしたフロッピーディスクが壊れているか、正しくフォーマットされていません
604	サポートしていないフロッピーディスクドライブがインストールされています
1780	ハードディスク 0 のテストに失敗しました
1781	ハードディスク 1 のテストに失敗しました
2400	システムボードのビデオエラーです
2401	システムボードのビデオエラーです
8601	キーボード／マウスインターフェースのエラーです
8603	マウスかシステムボードのエラーです
I9990301	ハードディスクのエラーです
I9990305	OS がみつかりませんでした
0	2 回以上連続して自己診断プログラム（POST）が中断され、システムボードにデフォルト設定が行われました または、キーボードコントローラーのエラーです
その他のエラーコード	自己診断プログラムがエラーを発見しました

本体仕様

機種		AL-N0D413J5
CPU		Am5x86　133 MHz
メモリー	メイン RAM	24 M バイト
	ROM	128 k バイト
	ビデオメモリー	1 M バイト
ハードディスクドライブ		810 M バイト
表示機能	テキスト表示	80 文字× 25 行
	グラフィック表示	解像度：640 × 480 ドット
		色数：65536 色
	漢字表示	日本語 40 文字× 25 行
入力装置	キーボード	総数 88 キー
	トラックボール	直径 16 mm トラックボール
インターフェース	プリンター	セントロニクス準拠 D-sub 25 ピン
	RS-232C 規格	RS-232C D-sub 9 ピン
	拡張キーボード マウス テンキーボード	PS/2 タイプ
	VGA モニター	アナログ RGB D-sub 15 ピン
	音声	マイク入力（MIC ミニ M3）× 1 ヘッドホン出力（PHONES ミニ M3 32 オーム 0.24 mW）× 1
	赤外線通信ポート	IrDA-SIR 準拠、最大 115.2kbps
カードスロット	PC カード専用	タイプ II × 2 スロット　または　タイプIII× 1 スロット （5 V で 600 mA *1 ／ 12 V で 100 mA*2）
	RAM モジュール専用	1 スロット
オーディオ機能		PCM 音源（Sound Blaster 互換）FM 音源　スピーカー搭載
時計機能		クロックバッテリーバックアップ　月差± 60 秒
電源	入力	AC アダプター 15 V（入力 AC100 ー 240 V、 50/60 Hz） バッテリーパック 10.8 V（Li-Ion）
	消費電力＊2	約 14 W（約 12 W ）
バッテリー稼働時間		標準約 1.7（最大約 3.4）時間
外形寸法（幅×奥行×高さ）		255 × 162 × 36.4 mm
質量		1.31 kg
使用環境条件		温度：5〜35 ℃　湿度：30〜80 %RH（結露なきこと）
導入済みソフトウェア		Microsoft Windows95、Microsoft Internet Explorer 2.0 Nifty Manager、各種ドライバーなど
フロッピーディスクドライブ		外付け 1 ドライブー 3.5 インチ（1.44 M/1.2 M/720 k バイト）

1M バイト＝ 10^6 バイト表記です。

***1**　2 スロット合計の許容電流です。

***2**　動作中の最大消費電力です。(　) 内は、電源オフ時、バッテリー充電中の表記です。
また、電源オフ時、バッテリーの消費電力は約 30 mW です。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください
転居や贈答品などでお困りの場合は…
・修理は、サービス会社・販売会社の「修理相談窓口」へ！
・その他のお問い合わせは、
「パナソニックモバイルテクノセンター」へ！

■ 保証書（別添付）

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から1年間

■ 修理を依頼されるとき

『困ったときに開くページ』に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。
注）性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

松下電器産業株式会社　情報周辺機器事業部
〒570 大阪府守口市八雲東町1丁目10番12号　TEL (06)908-1001

Printed in Japan
F0896-0
ITT0261AA